HITACHI
Inspire the Next

Prius
Air Note 100F

パソコン応用

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

FLORA

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

パソコンの信頼性について

ご購入いただきましたパソコンは、家庭用、あるいは、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。
高信頼性を必要とする場合には、別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

家庭用一般事務用パソコンが不適当な、高信頼性を必要とする用途例
・化学プラント制御、医療機器制御、緊急連絡制御など

規制、対策などについて

- 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- 電源の瞬時電圧低下対策について

落雷等による電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします (社団法人　電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)。

- ENERGYSTAR® について

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク (ロゴ) は参加国間で統一されています。』

- 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制等外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。
なお、この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。

● パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去について

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンはオフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

従って、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。

ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。

「データを消去する」という場合、一般に

- ・データを「ゴミ箱」に捨てる
- ・「削除」操作を行う
- ・「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ・ソフトで初期化（フォーマット）する
- ・付属のリカバリーCDを使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows®などのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

パソコンユーザが、廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザの責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

弊社では、ハードディスクデータ消去ユーティリティ『CLEAR-DA』を用意しています。

詳細はFLORAホームページ http://floracity.hitachi.co.jp/go/etc/dload/clearda/clearda.htm をご覧ください。

● 音楽CD再生について

ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用下さい。規格外CDを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。再生できた場合であっても、音質は保証いたしかねます。

なお、規格外CDを再生した場合、色々な不具合が発生することがあります。

4 このマニュアルの使いかた

1章 応用操作
画面や音量の調整、バッテリーの充電など、パソコンの応用操作について説明します。

2章 消費電力を節約する
パソコンの消費電力を節約するために必要な設定について説明します。

3章 パソコンを拡張する
パソコンに周辺機器を接続する方法を説明します。

4章 セットアップする
ご購入時にセットアップされていないアプリケーションのセットアップのしかたや、パソコンをご購入時の状態に戻す方法を説明します。

5章 日常のお手入れ
パソコンや周辺機器のお手入れについて説明します。

6章 トラブルと思ったら
パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されたときは、この章をお読みください。

7章 技術情報
パソコンの仕様、有寿命部品やオプション情報について説明します。

付録
用語の解説やさくいんを記載しています。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブモデル	100F5TMC
DVD マルチドライブモデル	PCF-100F5TV、PCF-100FSTVC
CD/DVD ドライブ	DVD マルチドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブをまとめて表記します。
HDD	ハードディスクドライブを表記します。
FDD	フロッピーディスクドライブを表記します。
FD	フロッピーディスクを表記します。
Windows XP、Windows	Microsoft® Windows® XP Home Edition を表記します。

マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。
また説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、一部省略している場合があります。
URL、メールアドレス、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

もくじ

4 章 セットアップする

5 章 日常のお手入れ

6 章 トラブルと思ったら

7 章 技術情報

付録

1章

応用操作

この章では、

パソコンの設定を工夫し、さらに使いやすくする方法について

説明します。

4

ディスプレイを調整する

ここではディスプレイの明るさや表示を変更する方法を説明します。

ディスプレイの明るさを変える

暗くする

■ [Fn]+[F8](☼▼)

[Fn] キーを押しながら、[F8] キーを押すと画面が暗くなります。
押すたびに暗くなります。

明るくする

■ [Fn]+[F9](☼▲)

[Fn] キーを押しながら、[F9] キーを押すと画面が明るくなります。
押すたびに明るくなります。

ヒント

・ 暗くするとバッテリーの消費が少なくなり、明るくするとバッテリーの消費が多くなります。

ディスプレイの表示を変える

設定は、[画面のプロパティ] で行います。

[画面のプロパティ] の開き方

1 [スタート] ボタンー [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が開く。

2  **[画面] アイコンをダブルクリックする。**

[画面のプロパティ] が表示される。

ヒント

・ **[コントロールパネル] に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

画面の解像度、色、フォントの設定

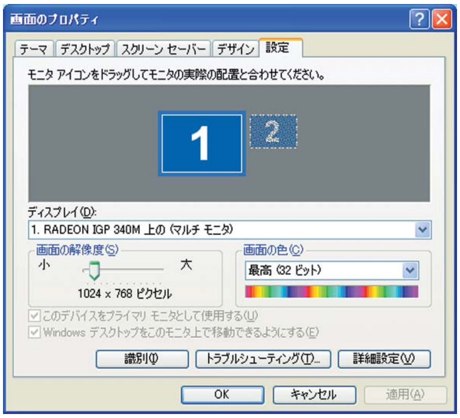
重要

・ 設定はアプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと、正しく動作しないことがあります。

1 **[画面のプロパティ] の [設定] タブで、画面の解像度や色を設定する。フォントサイズについては、[デザイン] タブの [フォントサイズ] で設定する。次の表の組み合わせに従い設定後、[適用] ボタン、[OK] ボタンをクリックする。**

ヒント

・ [デスクトップ] タブでデスクトップの壁紙を変更できます。



画面の解像度	色 *1	フォントサイズ
800 × 600	中 (16 ビット)	標準 *3 大きいフォント 特大フォント
	最高 (32 ビット)	
1024 × 768 *3	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット)	
1280 × 1024 *2	中 (16 ビット)	
	最高 (32 ビット)	
1600 × 1200 *2	中 (16 ビット)	

＊1 ：中（16 ビット）は 65536 色、最高 (32 ビット) は約 1677 万色です。ただし、液晶ディスプレイでは、最高 (32 ビット) に設定した場合ディザリング表示になります。
＊2 ：仮想デスクトップ表示モードになります。
＊3 ：出荷時のパソコンは、この標準値に設定されています。

2 以降、表示されるメッセージに従って操作する。

画面の表示モードが設定される。

重 要

- **画面の表示で問題が発生した場合は、[画面のプロパティ] の [設定] タブの [詳細設定] ボタンをクリックして [トラブルシューティング] タブで [ハードウェア アクセラレータ] を左から 2 つ目の目盛りに設定してください。**
- **外付けディスプレイを使用する場合、表示モードによっては外付けディスプレイの表示領域の位置やサイズが異なります。ディスプレイ側で画面を調整してください。調整の方法については、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。**
- **アプリケーションによっては、スクロールしたりウィンドウの移行を行ったりしたときに表示の一部が欠けたり乱れたりすることがあります。この時は、再表示してください。**
- **パソコンのディスプレイと外付けのディスプレイに同時表示する場合、表示できる最大領域は、いずれのディスプレイもパソコン側の最大領域（1024 × 768）と同じになります。**

リフレッシュレートの設定

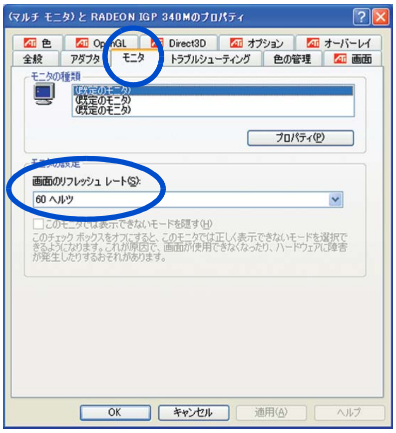
外付けディスプレイにのみ表示して使用しているときは、必要に応じて外付けディスプレイのリフレッシュレートを設定できます。リフレッシュレートとは、1 秒間にディスプレイの画面を書き換える回数を指します。この数値が高いほどちらつきが少なく、目に負担を与えない画面表示になります。

重 要

- **外付けのディスプレイについては、ディスプレイ付属のマニュアルをご参照ください。**
- **ディスプレイの機種により、設定できるリフレッシュレートは異なります。**

1 [画面のプロパティ] の [設定] タブで、[詳細設定] ボタンをクリックする。

2 [モニタ] タブをクリックし、表示したいリフレッシュレートを [画面のリフレッシュレート] から選び、[OK] ボタンをクリックする。



音量を調整する

ここでは、パソコンの音量を調整する方法を説明します。調整は、パソコンで制御する音量 (以下、パソコンの音量) の調整と、Windows で制御する音量 (以下、Windows の音量) の調整の 2 つがあります。どちらかが最低になっていると、音が出ません。両方の調整方法を覚えましょう。

ヒント

・ アプリケーションを使って音楽などを聴いている場合は、そのアプリケーションでも調整できます。調整のしかたは、アプリケーションのマニュアルなどをご参照ください。

パソコンの音量を調整する

パソコンの音量はスピーカーボリュームで調整します。

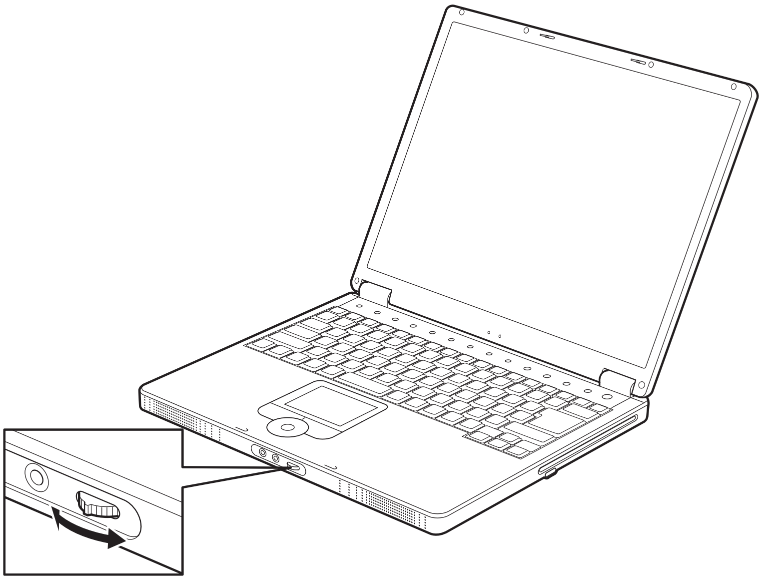
重要

・ パソコンの音量調整を行っても、Windows の音量が最低になっていると、Windows やソフトウェアの音が出ません。Windows の音量も調整してください。

参照 Windows の音量の調整方法→本章の「Windows の音量を調整する」

スピーカーボリュームを使って調整する

パソコンのスピーカーボリュームを左右に動かして、適切な音量に調整してください。



Windows の音量を調整する

Windows の音量は、タスクバーの [音量] アイコンや、キーボードのキーなどで調整します。

重要

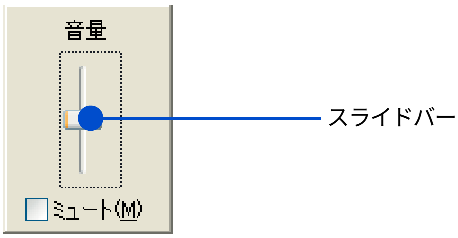
- **Windows の音量調整を行っても、パソコンの音量が最低になっていると、音が出ません。パソコンの音量も調整してください。**
  参照 パソコンの音量の調整方法→本章の「パソコンの音量を調整する」

[音量] アイコンで調整する

1 タスクバーの [音量] アイコンをクリックする。

[音量] を調整するスライドバーが表示される。

2 スライドバーを上下にドラッグして、音量を調整する。



ヒント

- **[ミュート] にチェック ( ) が付いていると、音は鳴りません。**

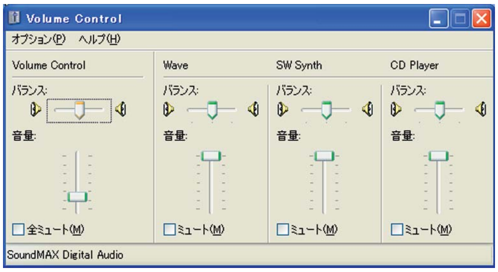
[Volume Control] で調整する

Windows の [Volume Control] を使うと、CD プレーヤーの音量や、録音レベルも調整できます。

1 **タスクバーの  [音量] アイコンをダブルクリックする。**

[Volume Control] 画面が表示される。

2 **音量やバランスを調整したい箇所のスライドバーを上下に動かして、調整する。**



ヒント

- **項目の意味は、次の通りです。**

Volume Control	**：**	**全体的な音量を調整**
WAVE	**：**	**WAV ファイルなどの音量を調整**
SW Synth	**：**	**MIDI ファイルなどの音量を調整**
CD Player	**：**	**音楽 CD の音量を調整**
		(Windows Media Player で音楽 CD を再生する場合は使用しません。)

- **[全ミュート] または [ミュート] にチェック () が付いていると、音が出ません。**

タスクバーに [音量] アイコンが表示されていないときは

1 **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。**

[コントロールパネル] が開く。

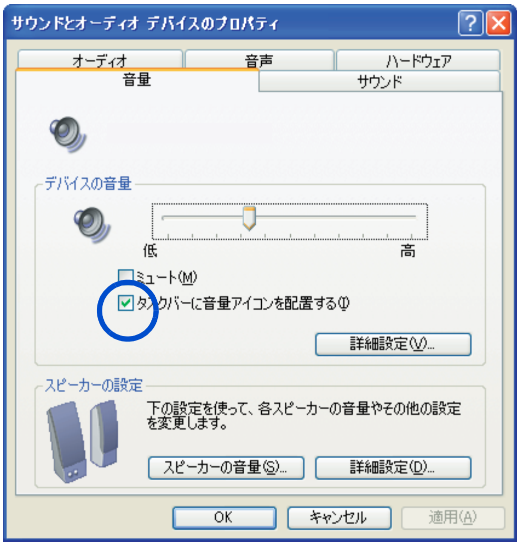
2  **[サウンドとオーディオデバイス] をダブルクリックする。**

[サウンドとオーディオデバイスのプロパティ] が開く。

ヒント

- **[コントロールパネル] に [サウンドとオーディオデバイス] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

3 **[音量] タブの [タスクバーに音量アイコンを配置する] をクリックして、チェック ( ) を付け、[適用] ボタンをクリックする。**



4 **[OK] ボタンをクリックする。**

ワンタッチキーを設定する

キーボードのワンタッチキーを押すと、設定したアプリケーションが立ち上がります。ここでは、設定の方法を説明します。ご購入時は、次のアプリケーションが立ち上がるように設定されています。必要に応じて変更してください。

● 標準の設定

[INTERNET] キー	：Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）
[MAIL] キー	：Microsoft Outlook（アウトルック）
[P1] キー	：CyberSupport（サイバーサポート）
[P2] キー	：Prius で楽しもう

重 要

- **[INTERNET] キーと [MAIL] キーは変更できません。**
- **再セットアップを行うと [MAIL] キーは「Outlook Express」に [P1] キーは「なし」に設定されます。**

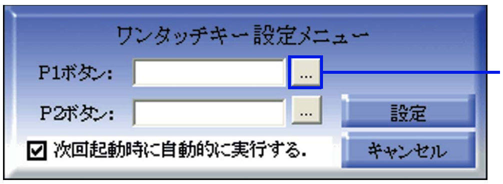
設定の方法

ここでは、[P1] キーにメモ帳を割り付ける場合を説明します。

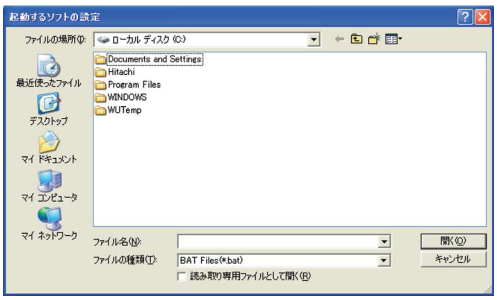
1 **タスクバーの [ワンタッチキー設定メニュー] アイコンをクリックする。**

[ワンタッチキー設定メニュー] の画面が表示される。

2 **[P1 ボタン] の ... をダブルクリックする。**



3 **ファイルの場面をクリックする。**



4 割り付けたいアプリケーションのプログラムを選択する。

●メモ帳を割り付ける場合

[ローカルディスク (c)] ー [Documents and Setting] ー [Owner] ー [スタートメニュー] ー [プログラム] ー [アクセサリ] の順にダブルクリックし、メモ帳を選択して [開く] をクリックする。

5 [設定] ボタンをクリックする。

バッテリーの使い方

ここでは、バッテリーの使い方について説明します。

バッテリーパックの充電

⚠警告

- **バッテリーパックは必ずパソコンに取り付けて充電してください。**
- **バッテリーパックは同梱のものかオプション指定されたものを使用してください。それ以外のものを使用すると、電圧、最大出力電流および＋－の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。**

1 パソコンの電源を切り、バッテリーパックを取り付ける。

参照 バッテリーパックの取り付けについて→『接続と準備』５の「屋外などでパソコンを使いたい方は」

2 AC アダプターをパソコンに接続する。

充電が始まる。充電中はバッテリーランプが点灯し、満充電になると消灯する。

充電時間

- パソコンの電源を切って充電：約 2.5 時間
- パソコンを使用しながら充電：約 2.5 時間

重要

- **放電しきったバッテリーパックや充電せず長期間放置 (過放電状態に) したバッテリーパックを充電する場合は、通常時に比べ、充電に時間がかかることがあります。また、バッテリーランプが消灯しても満充電にならない場合があります。Windows の電源メーターで確認し、充電が不十分な場合は、バッテリーパックを取り付け直して再充電してください。**

ヒント

- **バッテリーの充電時間は、パソコンの使用環境、周辺機器の接続状況、バッテリーパックの劣化状態などに応じて異なります。**
- **パソコンを使用できる環境 (温度、湿度) でバッテリーパックを充電しないと、満充電にならないことがあります。**
- **AC アダプターでのパソコン使用時、充電状態のバッテリーパックを取り付けていると瞬時停電のときにも対応できます。**
- **放電直後や充電直後などでバッテリーパックの温度が高いと、バッテリーランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。**

充電状態の確認

充電状態はインジケーターランプで確認します。

・ 充電中　：バッテリーランプが点灯
・ 満充電　：バッテリーランプが消灯

ヒント

・ **放電直後や充電直後などでバッテリーパックの温度が高いと、バッテリーランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。**

バッテリーでの動作時間

バッテリーでの動作可能時間は、満充電にした状態で約 2.5 時間です。

ヒント

動作可能時間は、JEITA バッテリー動作時間測定法 (Ver1.0) に準じます。

・ **測定法 a)**
<条件>
動作：Windows Media Pleyer にて測定用動画ファイルを連続再生
音量：ミュート
LCD の明るさ：20cd/m^2 以上 (下から 2)
スクリーンセイバー：なし
「電源オプションのプロパティ」内の設定
・「電源設定」タブ
「バッテリ使用」の項目をすべて「なし」に設定する。
・「アラーム」タブ
「バッテリ低下アラーム」：10%
「バッテリ切れアラーム」：8%

・ **測定法 b)**
<条件>
動作：Windows デスクトップ画面表示
LCD の明るさ：最低設定
スクリーンセイバー：なし
「電源オプションのプロパティ」内の設定
・「電源設定」タブ
「バッテリ使用」の項目
「ハードディスクの電源を切る」：3 分
その他の設定をすべて「なし」に設定する。
・「アラーム」タブ
「バッテリ低下アラーム」：チェックを外す
「バッテリ切れアラーム」：チェックを外す

動作可能時間を長くするには

バッテリーを長時間使用するには、次の方法で消費電力を抑えて節電してください。

■ 節電機能を使う

節電機能を使うように設定しておくと、一定時間パソコンを操作しないでいると消費電力を抑えます。ディスプレイを閉じることでも節電機能が働きます。

参照 節電機能の設定について→「2 章 消費電力を節約する」

重要

次の状態のときは、電源スイッチで節電機能を働かせないでください。

- **HDD、FD、CD-ROM などの読み書き中**
- **プリンターでの印字中**
- **システムやアプリケーションの立ち上げ中**
- **PC カードの機能を使用中**
- **音声、動画ファイルの再生中**

参照 節電機能が使えない状態について→ 2 章の「節電機能を使わないようにするとき」

■ こまめに電源を切るか、システムスタンバイ状態にする

パソコンを使用しないときは、なるべくシステムスタンバイ状態にしたり、電源を切ってください。

■ 画面を静止させる

スクリーンセーバーなどの画面保護機能を使うときは、「模様なし」(静止画) を選んでください。

■ 画面の明るさを下げる

[Fn] ＋ [F8] (☼▼) キーを押してディスプレイの明るさを下げると、消費電力を抑えられます。

■ 音量を下げる

スピーカーボリュームで音量を下げると、消費電力を抑えられます。

バッテリーの容量を確認する

パソコン使用中にバッテリーの容量を Windows の [電源の管理] で確認できます。
[電源の管理] では、バッテリーの容量がわずかになったとき、パソコンをどうするかを設定することもできます。

■ [電源の管理] の開き方

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が表示される。

2 [電源オプション] をダブルクリックする。

[電源オプションのプロパティ] が表示される。

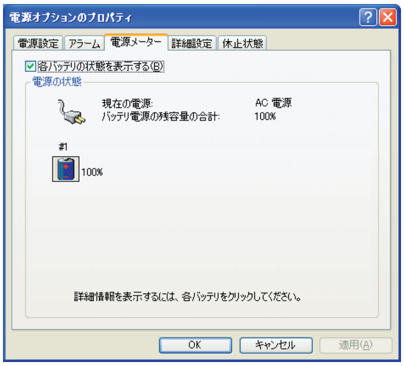
ヒント

- **[電源オプションのプロパティ] は、タスクバーの電池のアイコンを右クリックして開くこともできます。**
- **[コントロールパネル] に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

容量を確認する

1 [電源オプションのプロパティ] の [電源メーター] タブをクリックする。

バッテリーの容量を確認できる。



ヒント

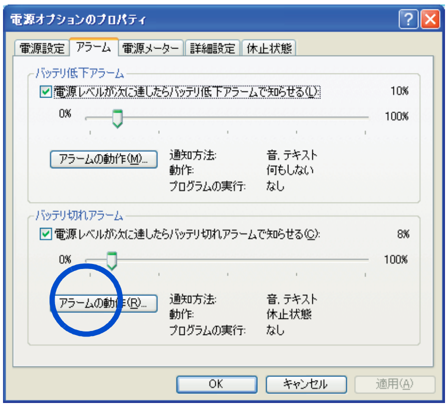
- 使用環境や動作状態により、容量の値が大きく変動したり正確な値が表示されないことがあります。
- バッテリーパックを取り付けた直後は、実際の容量と表示される容量の誤差が大きい場合があります。一度、満充電にすると誤差は小さくなります。
- バッテリーパックが満充電でも 100%と表示されないことがあります。

バッテリーの容量が少なくなったときの設定

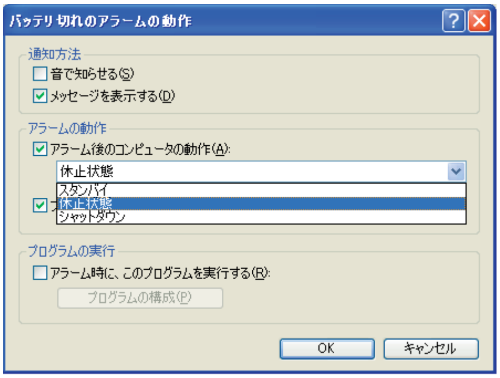
バッテリーの容量がわずかになったとき、パソコンをどうするかを設定します。
標準では、休止状態が働くように設定されています。
このほかの設定は標準値のままお使いください。

1 [電源オプションのプロパティ] の [アラーム] タブをクリックする。

2 「バッテリ切れアラーム」の [アラームの動作] ボタンをクリックする。



3 「アラームの動作」の「アラーム後のコンピュータの動作」をチェックして、スタンバイまたは休止状態を選び、[OK] ボタンをクリックする。



4 [アラーム] タブで [適用] ボタンをクリックする。

上手にバッテリーを使う

ここでは、上手なバッテリーの使い方を説明します。

■ 過放電しない

満充電のバッテリーパックをパソコンに取り付け、AC アダプターを接続せずに 1ヶ月以上使用しないと過放電になります。また、残量の少ないバッテリーパックをパソコンに取り付けて 2 ～ 3 日放置すると、過放電になります。過放電したバッテリーパックは、充電が始まるまでに数時間かかったり、充電できる容量が少なくなります。また、過放電がひどくなると、そのバッテリーパックは使用できなくなることがあります。

■ AC アダプターとバッテリーパックを付けたまま長時間放置しない

バッテリーが満充電になったら、AC アダプターとバッテリーパックを差したまま長時間放置しないでください。AC アダプターを差していても、バッテリーは少しずつ放電して、容量が減ります。バッテリーを再度充電するには、AC アダプターまたはバッテリーパックを接続し直してください。

■ 長期間使用しないときでも、1ヶ月に一度は充電する

バッテリーは使用しなくても少しずつ消費されています。Windows の [電源の管理] でバッテリーの残量を確認し、15%以下であれば充電してください。また、長期間使用しないときでも、1ヶ月に一度は充電してください。

■ バッテリー容量が少なくなったら必ず充電する

バッテリーの容量が少なくなった状態で、そのまま使用を続けると突然電源がきれ、HDD 内のデータが壊れる場合があります。容量が少なくなったら必ず充電してください。

■ 定期的に完全放電する

使い方によっては、見かけ上の残容量が減り、使用時間が短くなることがあります。
これを防ぐため、一ヶ月に 1 回程度、バッテリーを完全放電することをおすすめします。

1 **パソコンの電源を入れ、画面中央に「HITACHI」と表示されたら [F2] キーを押す。**

BIOS メニューの [Main] 画面が表示される。

2 **BIOS メニューの [Main] 画面で [Esc] キーを押す。**

3 **[Battery Refresh] を選び [Enter] キーを押す。**

4 **AC アダプターを取り外し、バッテリー駆動にする。**

5 **バッテリーが切れるまで放電する。**

6 **放電後、バッテリーを充電する。**

ヒント

- **完全放電は、バッテリーが満充電のときから行う必要はありません。**
  残量が少ないときからおこなえば、それだけバッテリーが切れるまでの時間は短くなります。

重 要

- **完全放電したまま放置しないでください。バッテリーが過放電状態になります。**

バッテリーパックの交換時期

ここでは、バッテリーパックを交換する方法について説明します。

交換時期

警告メッセージが表示されたら、バッテリーの残量は10%未満です。この状態を「Low Battery」といいます。Low Batteryになったら、バッテリーパックを交換してください。Low Batteryのまま放置し、残量が8%未満になると、再び警告メッセージが表示され、[電源の管理]で設定した状態(休止状態またはスタンバイ)になります。

● 休止状態の場合

休止状態は、現在の状態を保存して電源が切れます。ACアダプターを接続するか、満充電のバッテリーパックと交換してから電源を入れてください。

● スタンバイの場合

すぐにACアダプターを接続してください。スタンバイのまま放置するとバッテリーがなくなり電源が切れます。スタンバイから復帰するには電源スイッチを約1秒押します。

重要

- **ACアダプターを接続しなかったり、バッテリーを交換する前には、システムスタンバイ状態から復帰しないでください。復帰には電力が多く使われるため、バッテリーが切れ、復帰しないことがあります。**
- **HDD、FD、CD-R/RW、DVD-ROMなどへのアクセス中にスタンバイまたは休止状態が始まった場合は、復帰しても元の状態に戻らないことがあります。**

ヒント

- **パソコンの電源が切れていてもバッテリーは消耗します。1ヶ月以上使用しないときは、ときどき充電するか、パソコンからバッテリーパックを外してください。**

交換方法

次のいずれかの方法で行ってください。
交換するバッテリーパックは、少なくても残量が30%以上のものを使用してください。

■ 電源を切って交換

1 パソコンの電源を切る。

2 バッテリーパックを交換する。

1 応用操作

電源を切らずに交換

1 **AC アダプターを接続する。**

2 **システムスタンバイ状態にする。**

重要

- **システムスタンバイ状態にしないで交換すると、HDD に衝撃が加わって故障する原因になります。**

3 **10 秒以上待ってからバッテリーパックを交換する。**

重要

- **バッテリーパックを交換した直後は、正確な残量表示ができないことがあります。いったん満充電まで充電するか、バッテリーを使い切ると正しい残量を表示します。**

バッテリーの使用について

- お買い求め直後、または長時間バッテリーを使わなかった場合、満充電にしても使用可能時間が短いことがあります。放電 (使用) と充電を数回繰り返すと元の使用可能時間に戻ります。
- バッテリーパックは湿気の少ない涼しい場所で保管してください。
- バッテリーパックには寿命があります。使用可能時間が短くなってきたら、新品と交換してください。
- バッテリーパックの金属部分には素手で触れないでください。

⚠警告

- **バッテリーパックは次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。**
  ･電池の＋－端子間をショートさせない。
  ･火中に投入したり、60 ℃以上に加熱しない。
  ･落下などの強い衝撃を与えない。
  ･外装パックが著しく破損するような衝撃を与えない。
  ･濡れた布で金属部分を拭かない。
  ･水に濡らしたり、濡れた手で触れない。
  ･分解しない。
  ･火のそばや、炎天下、暖房器具の近くなどで使用、放置、充電しない。
  ･指定外のバッテリーパックを使用しない。
  ･液漏れしている場合には、素手で触れない。万一付着した場合は、流水で洗い流す。

注意

- **使用済みのバッテリーパックは、希少資源 (Li-ion) の有効利用のために、端子または接続コードにテープをはるなどの処置をしてから、充電式電池リサイクル協力店に持参して頂くか、お問合せ先へ処分方法をお問い合わせください。**

参照 お問い合わせ先→『困った時の Q&A』最初の頁

メール着信ランプを使う

メール着信ランプ付きのパソコンには、自動的にメール着信の有無を取得し、インフォメーションリングを点灯する機能があります。ここでは、その設定方法を説明します。

ヒント

- メール着信ランプは、設定した時間にメールサーバーにアクセスしメールがある場合に点灯します。ただし [休止状態] や Windows が終了した状態では点灯しません。
- 「Outlook」、「Outlook Express」のメールアカウント設定で [サーバーにメッセージのコピーを置く] が ☑ になっていると、新着メール以外もメールサーバーに残るため、メール着信ランプは点灯します。
- サーバーには容量制限があります。多数のメールをサーバーに残しておくと、新しいメールを受信するための容量が不足し、メールを受信できなかったり、古いメールから自動的に削除されることがあります。サーバーに残したメールを定期的に削除してください。メールをサーバーから削除する方法については、各プロバイダーにお問い合わせください。

重 要

- インターネットへの接続設定が済んでいないと、使用できません。
- メール着信設定を利用する場合、受信メールサーバーの設定をした後に [接続テスト] ボタンをクリックし、接続テストを行ってください。ダイヤルアップで接続する場合、選択したプロバイダによっては「ダイヤルアップの設定を変更してください」というメッセージが表示される場合があります。メッセージが表示された場合には、その内容に従って設定を変更してください。
- アカウントの種類は【コンピュータの管理者】でお使いください。それ以外のアカウントでは正しく動作しないことがあります。
- スタンバイから復帰するときのパスワードを無効にしてください。[コントロールパネル]-[電源管理]-[詳細設定] タブをクリックし、「スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックを外します。
- Windows が終了した状態では、設定した時間になってもメール着信の有無を取得しません。

参照 複数ユーザーで使用する→『パソコン入門』4 章の「一台のパソコンを複数の人で使う」
インターネットの設定詳細について→電子マニュアル『始めよう！インターネット』1 章の「インタネットに接続する」

メール着信ランプの設定

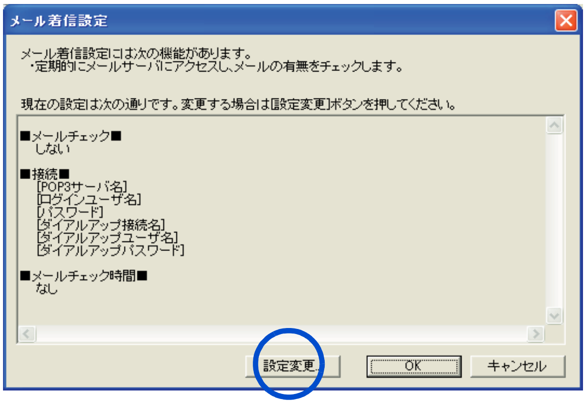
1 [スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] － [PriusAir View] － [メール着信設定] をクリックする。

[メール着信設定] が立ち上がる。

ヒント

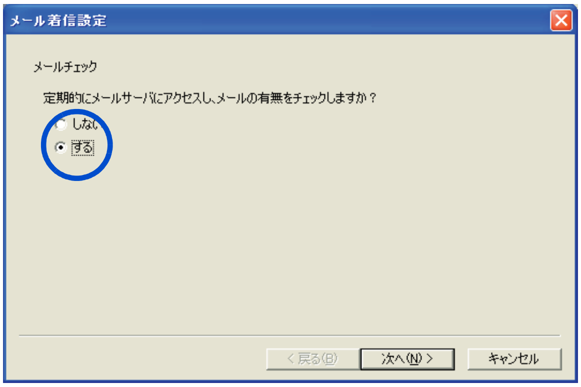
- [メール着信設定] は、わくわくナビからも立ち上げられます。

2 ［設定変更］ボタンをクリックする。



画面が切り替わる。

3 ［する］をクリックして○を◉にし、［次へ］ボタンをクリックする。



画面が切り替わる。

4 ▼をクリックし、ダイアルアップ接続名をクリックする。

重要

- **接続名がないときは［キャンセル］ボタンをクリックし、このメール着信設定を終了します。インターネットへの接続を設定してください。**

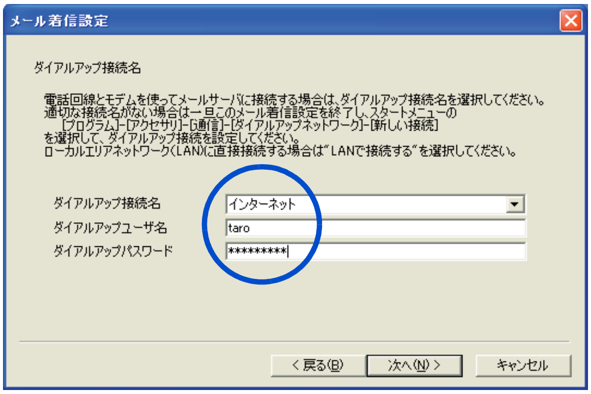
参照 インターネットの設定詳細について→電子マニュアル『始めよう！インターネット』1章の「インターネットに接続する」

5 ［ダイアルアップユーザ名］欄にユーザー名を入力する。

6 [ダイアルアップパスワード] 欄にパスワードを入力する。

ヒント

・ 電話回線と内蔵モデム以外でメールサーバーに接続している場合は、[ダイアルアップユーザ名]、[ダイアルアップパスワード] の入力は必要ありません。



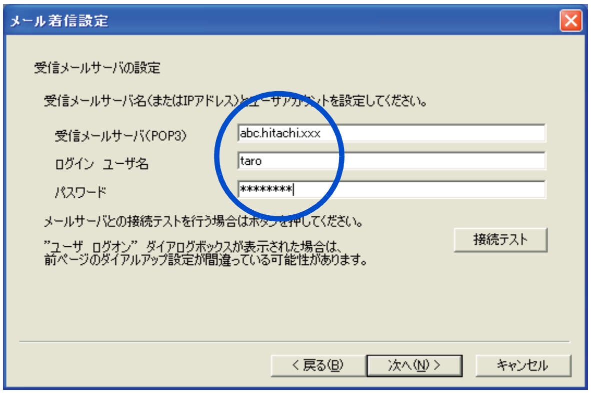
7 [次へ] ボタンをクリックする。

[メールサーバ設定] 画面が表示される。

8 [受信メールサーバ (POP3)] 欄にプロバイダーの受信メールサーバーを入力する。

9 [ログインユーザ名] 欄にユーザー名を入力する。

10 [パスワード] 欄にメール受信用のパスワードを入力する。



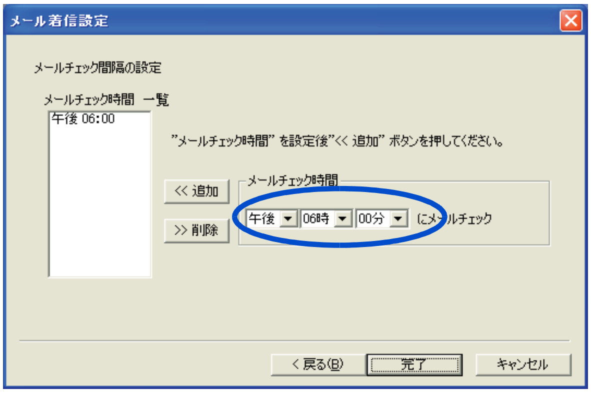
11 [次へ] ボタンをクリックする。

画面が切り替わる。

ヒント

・ [接続テスト] ボタンをクリックして、接続テストを行うこともできます。

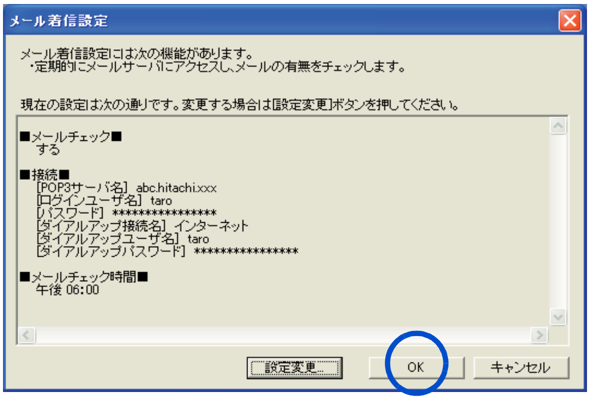
12 **▼をクリックし、メールチェック時間を指定し、[追加] ボタンをクリックする。**



ヒント

- **メールチェック時間を複数設定したい場合は、手順 12 を繰り返してください。**
- **メールチェック時間を削除したい場合は、「メールチェック時間一覧」から不要なメールチェック時間をクリックし、[削除] ボタンをクリックしてください。**
- **メールチェック時間は 32 個まで登録できます。**

13 **[完了] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする。**



メールチェック時間が設定され、[メール着信設定] 画面が閉じる。

インフォメーションリングを使う

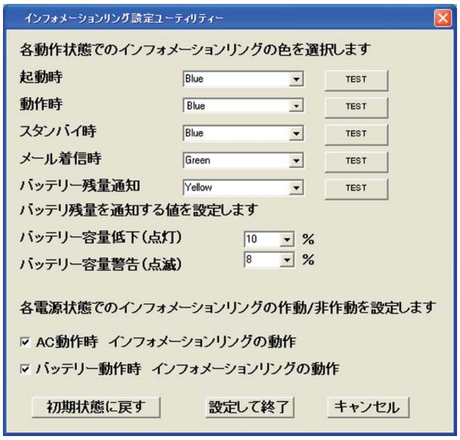
リングの色や光っている場所などでパソコンの動作状態を確認できます。ここでは、その設定方法を説明します。

インフォメーションリングの設定

1 **[スタート] ボタンー [すべてのプログラム]ー [Information Ring] をクリックする。**

[インフォメーションリング設定ユーティリティー] 画面が表示される。

2 **各設定項目をリストボックスより選択する。**



3 **[設定して終了] ボタンをクリックする。**

2章

消費電力を節約する

この章では、

パソコンの消費電力を節約する方法について

説明します。

4 節電機能とは

CPU や HDD、ディスプレイの働きを一時的に停止させることで、消費電力を節約できます。この機能を節電機能といいます。また節約している状態を節電状態と呼びます。

節電機能の種類

	機能	内容	電源ランプの状態	インフォメーションリング
パソコン全体の節電	スタンバイ	・CPU への電源供給を一時的に停止する ・接続した周辺機器への供給電力を減らす ・ディスプレイを消す ・HDD のモーターを停止する	点滅	点滅
	休止状態	・現在の使用状況を HDD に保存し、パソコンの電源を切る	消灯	消灯
ディスプレイの節電		・ディスプレイを消す	点灯	点灯
HDD の節電		・HDD のモーターを停止する		

重要

- **アプリケーションによってはその使用中に節電機能にならなかったり、節電機能が働くまでに時間がかかることがあります。**

節電する

消費電力を自動で節電したり、特定のボタンを押して節電します。

自動で節電する

パソコンを操作しないでいると、自動で消費電力が節約されます。
どのくらいの時間で節約されるかは、[コントロールパネル] の [電源の管理] で設定します。工場出荷時は次の設定になっています。

● AC アダプター使用時

・ 15 分操作しないと・・・・ディスプレイが節電される
・ 20 分操作しないと・・・・スタンバイ状態になる
・ 3 時間操作しないと・・・休止状態になる

● バッテリー使用時

・ 5 分操作しないと・・・・スタンバイ状態になる
・ 2 時間操作しないと・・・休止状態になる

時間を設定する

■ 設定

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が表示される。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

[電源オプションのプロパティ] が表示される。

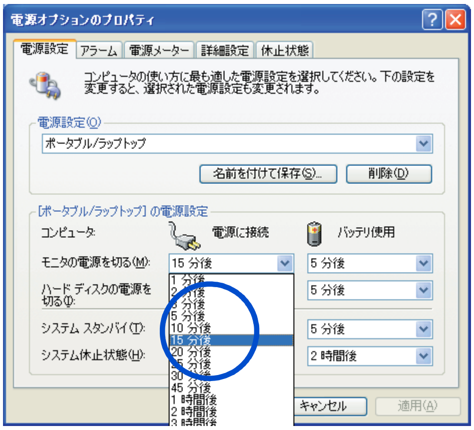
ヒント

・ **[コントロールパネル] に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

3 [電源設定] タブをクリックする。

4 各項目にどのくらいパソコンを操作しないでいると節電状態になるかを設定する。

- モニタの電源を切る　　　　　：ディスプレイの節電
- ハードディスクの電源を切る：HDD の節電
- システムスタンバイ　　　　　：パソコン全体の節電（スタンバイ）
- システム休止状態　　　　　　：パソコン全体の節電（休止状態）



5 [適用]、[OK] の順にボタンをクリックする。

重要

- **「システムスタンバイ」を設定しても、使用しているアプリケーションにより時間通りに節電状態にならないことがあります。**
- **「システムスタンバイ」と「モニタの電源を切る」を同じ時間に設定にしないでください。パソコンが正しく動かないことがあります。**

ヒント

- **AC 駆動時とバッテリー駆動時の、それぞれの時間を設定できます。**
- **「システム休止状態」が表示されないときは、「休止状態」タブで「休止状態を有効にする」にチェック (☑) を付けて [適用] ボタンをクリックしてください。標準では、チェックは付いています。**

重要

- **[電源オプション] の [電源メーター] タブを開いているときに、AC アダプターやバッテリーの抜き差しをしても、[電源メーター] のアイコンはすぐに更新されません。**

すぐに節電

パソコンから離れるときなどに、次のようにして消費電力を節約できます。

重要

- **音声や動画ファイルを再生中は、ここで説明する方法は行わないでください。節電状態から復帰したとき、正しく音声や動画ファイルを再生できないことがあります。**

[終了オプション] から節電

次のようにしてパソコンを節電状態にできます。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[終了オプション] をクリックする。

[コンピュータの電源を切る] が表示される。

2 [スタンバイ] ボタンをクリック、または [Shift] キーを押しながら [休止状態] をクリックする。





スタンバイまたは休止状態になる。

電源スイッチで節電

電源スイッチの設定を変えると、電源スイッチを押したときに、スタンバイにすることができます。この設定は、[コントロールパネル] の [電源オプション] で行います。

ヒント

- **「シャットダウン」は、[終了オプション] から Windows を終了するのと同様に、4 秒未満電源スイッチを押すことで電源を切る機能です。**

設定方法

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が表示される。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

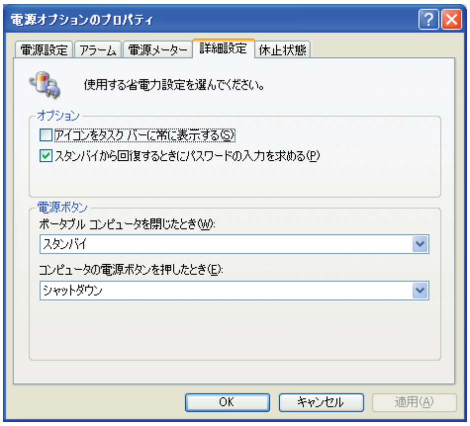
[電源オプションのプロパティ] が表示される。

ヒント

- **[コントロールパネル] に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

3 [詳細設定] タブで、各項目を「スタンバイ」や「休止状態」に設定する。

- ポータブルコンピュータを閉じたとき（ディスプレイを閉じたとき）
- コンピュータの電源ボタンを押したとき（電源スイッチを押したとき）



ヒント

- **[ポータブルコンピュータを閉じたとき] を「なし」に設定しても、ディスプレイを閉じたときに画面表示は消えます。**

4 [適用]、[OK] の順にボタンをクリックする。

節電状態から復帰する

節電状態から復帰させるには、次のように操作してください。

ディスプレイの節電状態からの復帰

・ キーボードの [Shift] キーを押す
・ ポインティングパッドまたはマウスを操作する

HDD の節電状態からの復帰

・ フォルダーを開くなど、HDD にアクセスする操作を行う

スタンバイからの復帰

・ 電源スイッチを押す

休止状態からの復帰

・ 電源スイッチを押す

重要

・ 電源スイッチは 4 秒以上押さないでください。4 秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。
・ 節電状態から復帰させるときは、10 秒以上時間をおいてください。10 秒未満で復帰させると、ディスプレイが正しく表示されなかったり、キーボードやマウスが正しく動かないことがあります。

節電機能を使わないようにするとき

ここでは、どんなときに使わないようにするか、その設定の仕方を説明します。

節電機能を使わないようにするとき

次のときは、スタンバイや休止状態にならないようにしてください。これらの機能･プログラムでデータを扱っている最中に節電機能が働くと、データが失われることがあります。

・ 再セットアップ中
・ システムやアプリケーションの立ち上げ中
・ HDD、FD、CD/DVD ドライブなどの読み書き中やフォーマット中
・ 通信カード、通信ソフトで節電機能の使用が制限されている場合
・ プリンターの印字中

節電機能を使わないようにするには

次の手順で、節電機能が働かないようにできます。

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が表示される。

2 [電源オプション] アイコンをダブルクリックする。

[電源オプションのプロパティ] が表示される。

ヒント

・ **[コントロールパネル] に [電源オプション] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」 をクリックすると表示されます。**

3 [電源設定] タブの各項目を「なし」に設定する。

・ [モニタの電源を切る]
・ [ハードディスクの電源を切る]
・ [システムスタンバイ]
・ [システム休止状態]

4 [詳細設定] タブの各項目を「何もしない」または「シャットダウン」に設定する。

・ [ポータブルコンピュータを閉じたとき]
・ [コンピュータの電源ボタンを押したとき]

5 [適用]、[OK] の順にボタンをクリックする。

3 章

パソコンを拡張する

この章では、

周辺機器の接続方法と使用方法を

説明します。

4 周辺機器接続時に必要な設定

ここでは、周辺機器を接続したときに必要な設定とその参照先をまとめてあります。なお、次の表で「必要な設定」が「なし」となっている場合でも、周辺機器に付属のマニュアルを参照し、必要な場合は設定してください。

接続した周辺機器	必要な設定	参照先
プリンター	・プリンタードライバー	プリンター付属のマニュアル
USB 機器	なし	USB 機器付属のマニュアル
i.LINK 機器	なし	i.LINK 機器に付属のマニュアル
LAN	・LAN ドライバーの セットアップ　＊	本章の「LAN を接続する」 4 章の「LAN ドライバー」
PC カード	なし	PC カード付属のマニュアル
ディスプレイ	・表示ドライバーの セットアップ　＊ ・画面の設定 (必要に応じて)	4 章の「表示ドライバー」 1 章の「ディスプレイを調整する」
家庭用テレビ	・表示ドライバーの セットアップ　＊ ・表示先の切り替え	4 章の「表示ドライバー」 本章の「家庭用テレビを接続する」
ステレオ、マイク、 スピーカー、 ヘッドホン	・サウンドドライバーの セットアップ　＊	4 章の「サウンドドライバー」
光デジタルオーディオ機器	なし	光デジタルオーディオ機器付属の マニュアル
メモリーボード	なし	本章の「メモリーボードを取り付ける」

＊: 標準 (購入時の状態) で、セットアップ済み

ヒント

・ **周辺機器の取り扱いについては、各メーカーにお問い合わせください。**

周辺機器と必要なケーブル類

周辺機器を購入しても、ケーブル類が付属していないことがあります。
ここでは、周辺機器と必要なケーブル類についてまとめています。

周辺機器	必要なケーブル類
プリンター	プリンターケーブル(パラレルまたは USB)
スキャナー	スキャナーケーブル(シリアルまたは USB またはパラレル)
デジタルビデオカメラ(i.LINK 機器)	i.LINK S400 4 ピンケーブル
スマートメディア コンパクトフラッシュ SD カード	PC カードアダプター
家庭用テレビ	映像ケーブル、オーディオケーブル
光デジタルオーディオ機器	光デジタルケーブル(丸形)

重要

- **USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。**

使用できる周辺機器

プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなど、各機器メーカーまたは、日立のいずれかで動作を確認した周辺機器を、日立のホームページ「Prius World」で紹介しています。「Prius World」を開いたら、「サポートページ」—「周辺機器接続情報」項目でご確認ください。

参照 Prius World の URL については、『困った時の Q&A』表紙の次のページの「パソコンの最新情報と困った時の対策情報」を参照ください。

重要

- **日立のホームページ「Prius World」で確認済みとなっている場合でも、すべての条件下で確認されているとは限りません。ある条件、ある構成で確認された結果とお考えください。**
- **日立のホームページ「Prius World」で、動作確認済みとしてお知らせしている情報は、技術的な参考として、接続例をまとめたものとご理解ください。**
  各周辺機器とパソコンとの接続は、必ずお客様の責任で行ってください。
- **日立のホームページ「Prius World」で、動作確認済みとしてお知らせしている情報内容について、㈱日立製作所は動作保証を行いません。情報にしたがって実装・実行・使用によって生じた損害についても、一切責任を負いません。**
  また、各メーカーでも、動作保証できない情報も含まれています。ご注意ください。
- **機器の組み合わせや、使用環境、条件によって問題が生じた場合は、ご使用のすべての機器、ソフトウェアの商品名と開発元をご確認の上、各商品の販売元や開発元にお問い合わせください。**

参照 **詳細について→周辺機器やソフトウェアに付属のマニュアル**

4 プリンターを接続する

プリンターには、パラレル接続、USB 接続の２種類があります。ここでは、パラレルプリンターの接続方法、ドライバーのインストール方法･削除方法、使用するプリンターの選択方法について説明します。

参照 USB プリンターの接続について→本章の「USB 機器を接続する」

ヒント

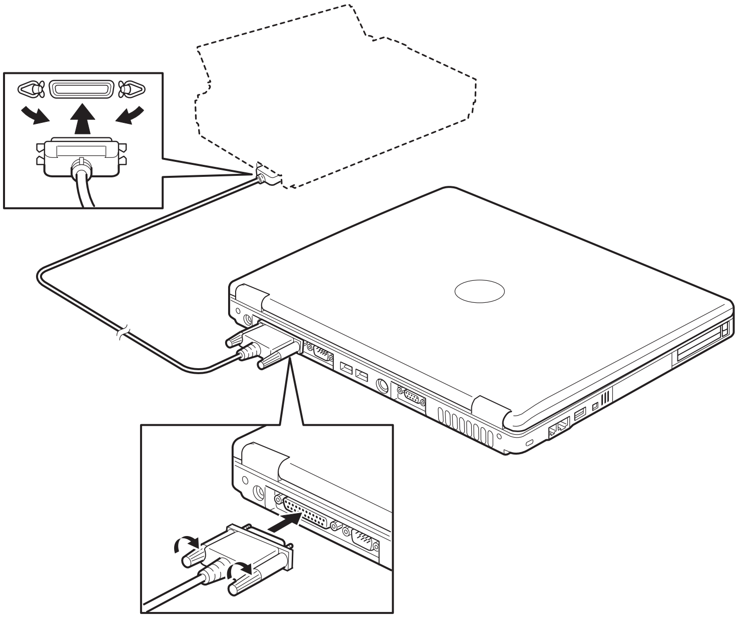
・ **プリンターケーブルは、プリンターに付属されていないことがあります。お買い求めの際はご確認ください。**

接続方法

1 パソコンの電源を切る。

2 プリンターのコネクターにケーブルを接続し、バネ式ロックをかける。

3 パソコン背面のプリンターコネクターにプリンターケーブルを接続する。



プリンタードライバーのインストール方法

プリンターを使用するには、ドライバーのインストールが必要です。
プリンタードライバーのインストールについては、プリンターに付属のマニュアルをご参照ください。

プリンタードライバーの削除方法

パソコンからプリンターを取り外し、Windows からプリンターを削除するときは次のようにします。お使いのプリンターにドライバーを削除 (アンインストール) するユーティリティーがある場合は、そちらをお使いください。次の説明は、一般的な削除方法です。

1 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が表示される。

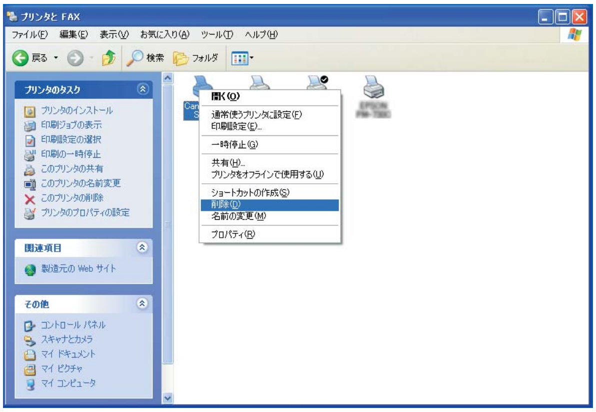
2 [プリンタと FAX] アイコンをダブルクリックする。

[プリンタと FAX] が表示される。

ヒント

・ **[コントロールパネル] に [プリンタと FAX] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

3 削除するプリンターのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックする。



4 メッセージが表示されたら、[はい] ボタン (または [OK] ボタン) を何度かクリックする。

ヒント

・ **削除したプリンターが通常使うプリンターに設定されていたときは、通常使うプリンターを変更するメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックしてください。**

使用するプリンターの選択

通常使うプリンターを設定する方法と、一時的に別のプリンターに切り替えて印刷する方法を説明します。

[通常使うプリンター] を設定する

1 **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックし、[プリンタと FAX] アイコンをダブルクリックする。**

[プリンタと FAX] が表示される。

ヒント

- **[コントロールパネル] に [プリンタと FAX] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

2 **通常使うプリンターを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] をクリックする。**

以降、標準で印刷するプリンターはそのプリンターになる。

使用するプリンターを一時的に切り替える

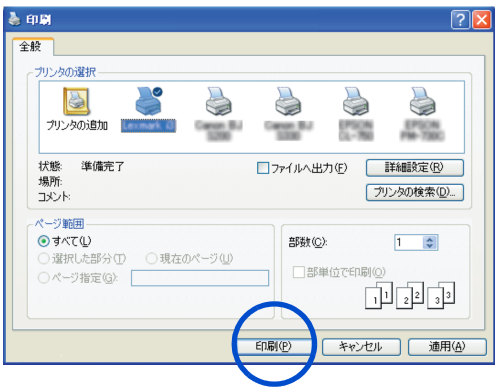
1 **印刷を行うアプリケーションの [ファイル] メニューから [印刷] を選ぶ。**

[印刷] が表示される。

2 **[プリンタの選択] から、一時的に使用するプリンターを選び、[印刷] ボタンをクリックする。**

ヒント

- **画面は一例です。**

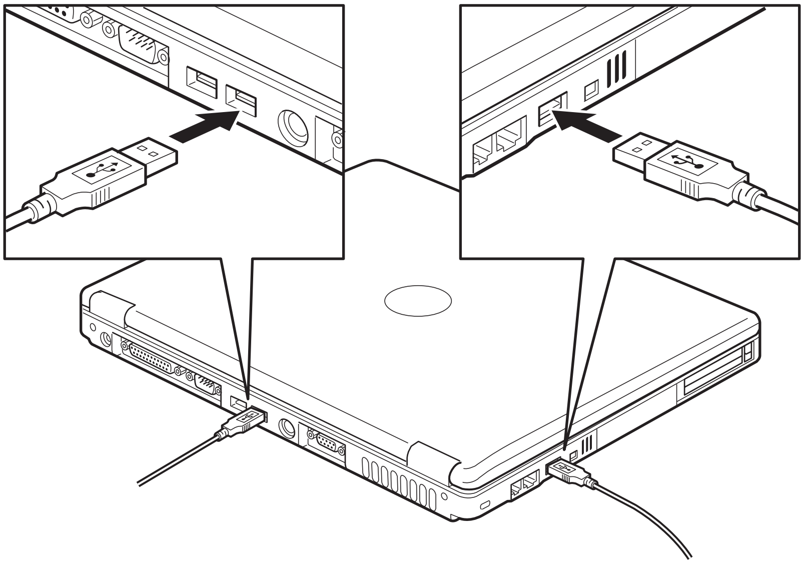


USB 機器を接続する

このパソコンには FDD やプリンターなどの USB(Universal Serial Bus) 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、USB 対応の周辺機器のマニュアルをご参照ください。

接続方法

パソコンの背面または側面の USB コネクターに USB マーク（ ）が上側になるようにして USB ケーブルを差し込む。



ヒント

- **USB 機器は、パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。**
- **USB コネクターは 3 つあります。どのコネクターに接続しても動作は同じです。**

重要

- **コネクターは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクターがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。**
- **USB2.0 対応の機器をご使用の場合は、USB2.0 対応の USB ケーブルをご使用ください。**
- **USB 機器によっては、「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。**

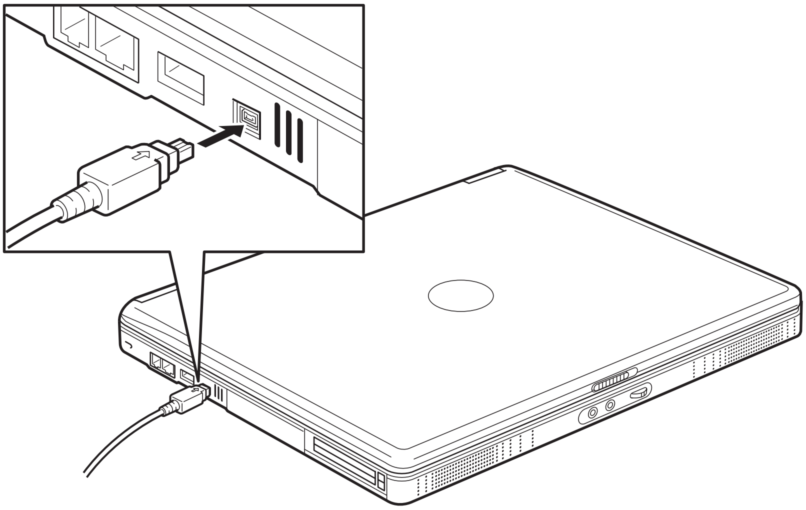
参照 「ハードウェアの安全な取り外し」について→本章の「PC カードを使う」「取り出し手順」

4 i.LINK 機器を接続する

このパソコンには、デジタルビデオカメラなどの i.LINK 機器を取り付けることができます。ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、i.LINK 機器のマニュアルをご参照ください。

接続方法

1 i.LINK ケーブル (市販品) をパソコン側面の i.LINK S400 コネクター (4 ピン) に接続する。



重要

- コネクターは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクターがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。
- コネクターの抜き差しは、コネクター部分を持って行ってください。
- i.LINK 機器によっては、電源を入れたまま抜き差しができない機器があります。

参照 詳細について→ i.LINK 機器付属のマニュアル

2 i.LINK ケーブルのもう一方のコネクターを、デジタルビデオカメラなどの i.LINK コネクターに接続する。

重要

- 接続しても i.LINK 機器が動作しない場合は、パソコンおよび i.LINK 機器の電源をすべて切ってから接続し直し、i.LINK 機器、パソコンの順で電源を入れ直してみてください。
- i.LINK 機器によっては、「ハードウェアの安全な取り外し」を行わないと、安全に取り外せないことがあります。

参照 「ハードウェアの安全な取り外し」について→本章の「PC カードを使う」「取り出し手順」

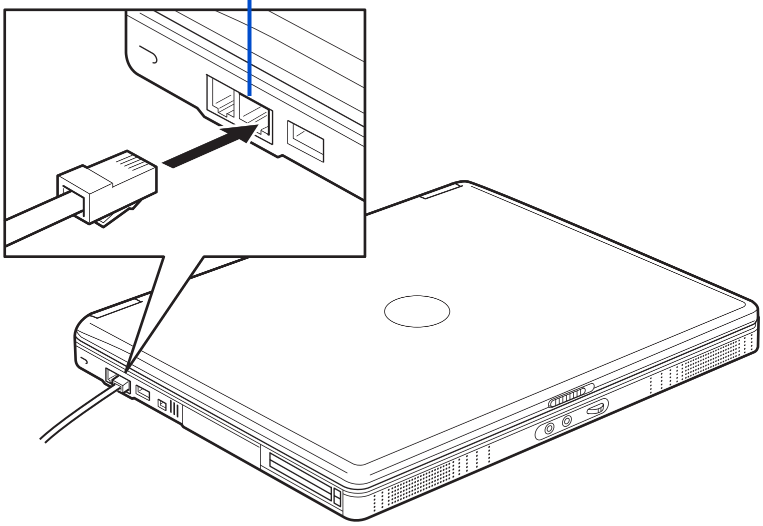
LAN を接続する

LAN ケーブルを接続して、LAN 通信を行うことができます。LAN ケーブルの接続方法を説明します。

接続方法

1 パソコンの電源を切り、周辺機器が接続されている場合は、周辺機器の電源を切る。

2 パソコン側面の LAN コネクター（品）に LAN ケーブル（市販品）を接続する。



重要

- コネクターは、正しい向き、正しい角度で差し込んで接続してください。コネクターがきちんと差し込まれていないと、動作しなかったり、誤動作したりします。
- コネクターの抜き差しは、コネクター部分を持って行ってください。
- このあと、ソフトウェアの設定などが必要です。
- LAN でインターネットに接続する一般的な設定→『始めよう！インターネット』1 章「LAN でインターネットに接続する」
- LAN の設定などの訪問サポートをご用意しております。有償サービスについては安心コールセンタにお問い合わせください。

参照 お問い合わせ先→『困った時の Q&A』最初の頁

4 PCカードを使う

このパソコンには、Card Bus／JEIDA Ver4.2／PCMCIA2.1仕様のPCカードを2枚接続できます。PCカードを接続することで、SCSI機器などを使用できます。

PCカードを取り付けるときは、あらかじめ付属のマニュアルを読み、取り付け可能であることをご確認の上、取り付けてください。

重要

- **Type IIIのPCカードは厚いため、1枚しか接続できません。取り付けるときは、下のPCカードスロットに入れてください。**

ヒント

- **上のスロットがスロット1、下のスロットがスロット2です。**
- **PCカードがスロット1で正常に動作しないときは、スロット2で使用してみてください。**
- **別途ドライバーのインストールが必要な場合があります。**

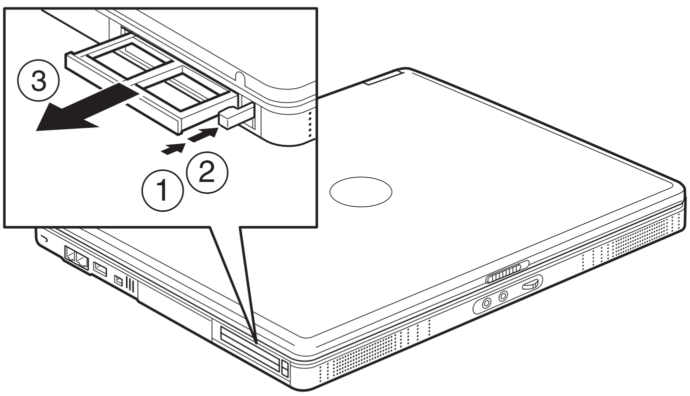
挿入手順

1 パソコンの電源を切る。

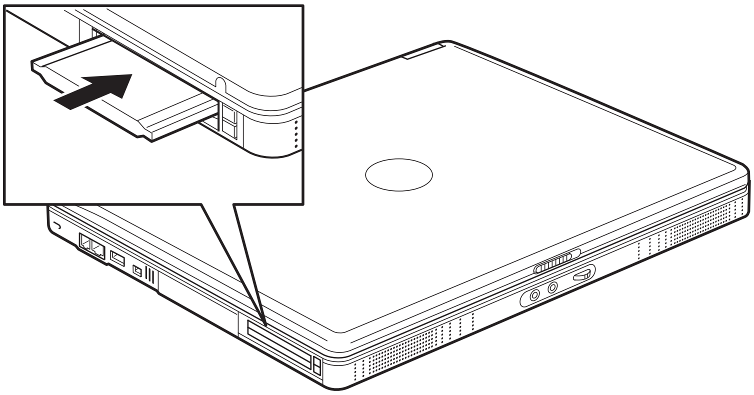
重要

- **PCカードはパソコンの電源を切って取り付けてください。電源が入った状態で取り付け／取り外しのできるPCカードもありますが、PCカードの組み合わせによっては正常に動作しないこともあります。**
- **PCカードは、カードの表側を上にして取り付けてください。逆に入れると、コネクターが壊れるおそれがあります。**
- **PCカードは、水平にまっすぐ取り付けてください。斜めに入れると、奥まで差し込めないことがあります。**

2 PCカードのイジェクトボタンを指で押し(①)、出てきたイジェクトボタンを押す(②)。ダミーPCカードが少し出てくるので取り出す(③)。



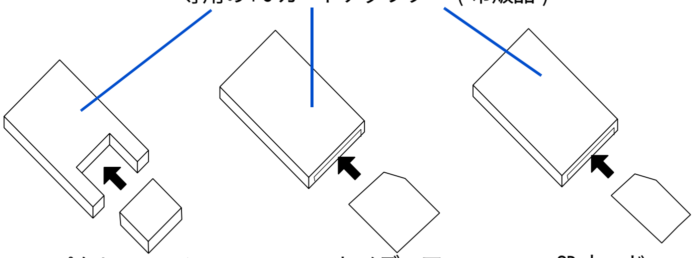
3 PCカードの表側を上にし、水平にまっすぐ奥までしっかりと、PCカードを差し込む。



4 スマートメディアまたはコンパクトフラッシュ、SDカードの場合は、次のように専用のPCカードアダプターに接続してから、PCカードスロットに差し込む。

ヒント

・ スマートメディアやコンパクトフラッシュはデジタルカメラなどの記憶メモリーです。



取り出し手順

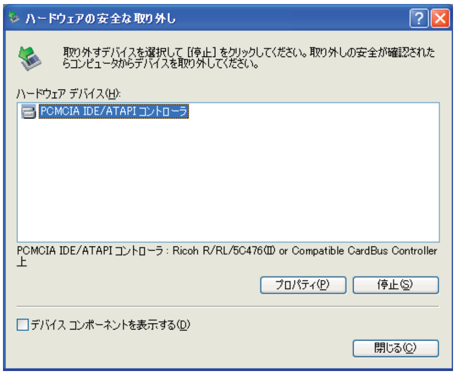
USB 機器や i.LINK 機器も次の手順で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。ここでは、PC カードの取り出し手順を説明します。

重 要

・ 次の手順で取り出さないとカードが壊れることがあります。

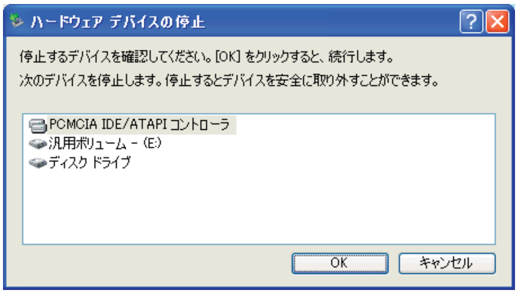
1 **タスクバーのアイコンを右クリックし、[ハードウェアの安全な取り外し] をクリックする。**

[ハードウェアの安全な取り外し] 画面が表示される。



2 **[停止] ボタンをクリックする**

[ハードウェアデバイスの停止] 画面が表示される。

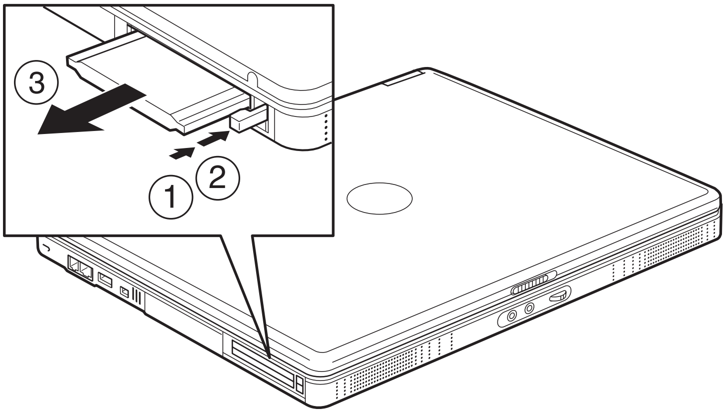


3 **取り外すカードや機器をクリックして選択し、[OK] ボタンをクリックする。**

[〜は安全に取り外すことができます。] と表示される。

4 **[閉じる] ボタンをクリックする。**

5 取り出すPCカードのイジェクトボタンを指で押し(①)、出てきたイジェクトボタンを押す(②)。PCカードが少し出てくるので取り出す(③)。



6 ダミーPCカードの表側(⇦マークのある方)を上にし、水平にまっすぐ奥まで差し込む。

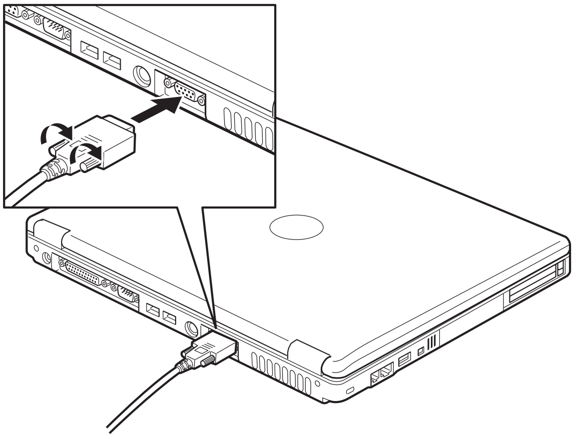
4 ディスプレイを接続する

外付けディスプレイを接続すると、パソコンと外付けディスプレイに同じ画面を表示できたり（同時表示）、外付けディスプレイのみに表示できます。

接続方法

1 パソコンの電源を切る。

2 パソコン背面のディスプレイコネクターに外付けディスプレイのケーブル（ミニ D－Sub15 ピン）を接続する。



表示先を切り替える

外付けディスプレイを接続すると、パソコンと外付けディスプレイに画面が表示されます（同時表示）。画面表示は、外付けディスプレイだけに表示させたり、パソコンにだけ表示させたりと切り替えることができます。

ヒント

・ **表示先の切り替えは、一時的に切り替わるだけで、電源を入れ直すと同時表示に戻ります。**

キーで切り替える

[Fn] キーを押しながら、[F3] キーを押します。押すたび、次のように表示先が切り替わります。

パソコンのみ → 外付けディスプレイのみ → 同時表示 →（パソコンのみに戻る）

[画面のプロパティ] で切り替える

ここでは、外付けディスプレイにのみ表示させる方法を例に説明します。

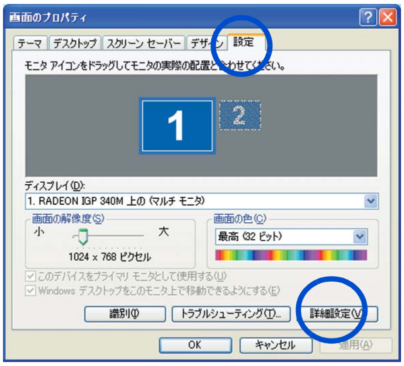
1 **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックして [コントロールパネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリックする。**

[画面のプロパティ] が表示される。

ヒント

・ **[コントロールパネル] に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

2 **[設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックする。**



[(既定のモニタ) と RADEON IGP 340M のプロパティ] が開く。
接続するモニタの種類によっては、[(マルチモニタ) と RADEON IGP 340M のプロパティ] と表示される。

3 **[画面] タブをクリックし、表示させない方 (ここでは、[パネル] の) をクリックする。**



画面中央の が に変わる。

4 **[適用] ボタンをクリックし、メッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックし、[OK] ボタンを 2 回クリックする。**

外付けディスプレイのみに表示される。

4 家庭用テレビを接続する

パソコンの画面を家庭用テレビに接続すると、パソコンの画面をテレビの大画面で見ることができます。

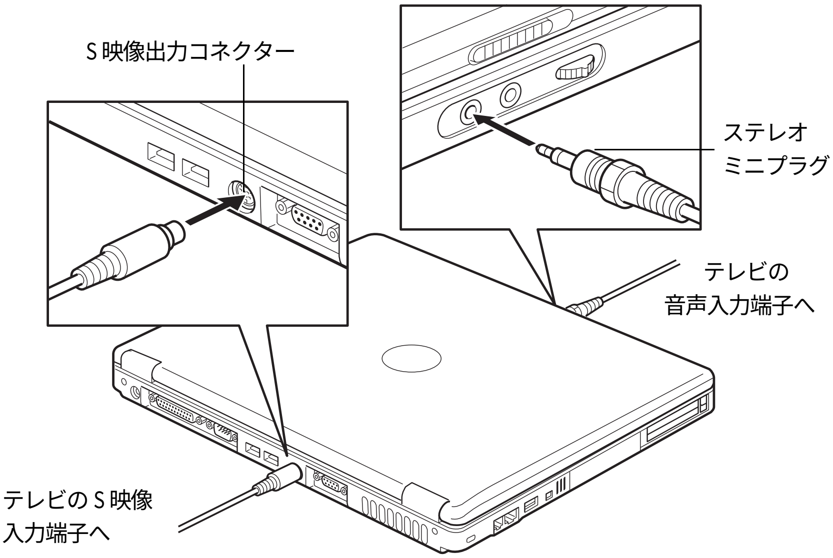
重要

- 家庭用テレビは、文字などの緻密な表示には適していません。パソコン操作時のディスプレイとして使用する場合は、CRT や LCD などの外付けディスプレイをお使いください
- 外付けディスプレイと家庭用テレビの同時表示は行わないでください。

接続方法

1 **パソコンの電源を切る。**

2 **パソコン背面の S 映像出力コネクターに、市販の S 映像ケーブルを接続する。**



3 **S 映像ケーブルをテレビの S 映像入力端子に接続する。**

4 **パソコン前面のヘッドホンコネクターに、市販のオーディオケーブルを接続する。**

ヒント

- オーディオケーブルは、片方がステレオミニプラグもう片方がテレビの音声入力端子にあったものをご用意ください。

5 **オーディオケーブルのもう片方のコネクタープラグを、テレビの音声入力端子に接続する。**

6 パソコンの電源を入れ、Windows が立ち上がったら、[スタート] ボタン－[コントロールパネル] をクリックする。

[コントロールパネル] が開く。

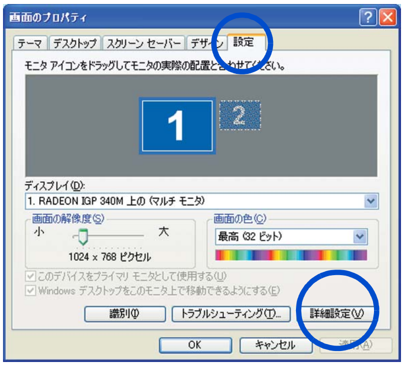
7 [画面] アイコンをダブルクリックする。

[画面のプロパティ] が表示される。

ヒント

・ **[コントロールパネル] に [画面] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。**

8 [設定] タブをクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックする。



[(マルチ　モニタ) と RADEON　IGP　340M のプロパティ] が開く。

9 [画面] タブをクリックし、[テレビ] の をクリックする。



10 [適用] ボタンをクリックし、メッセージが表示されたら、[はい] ボタンをクリックし、[OK] ボタンを 2 回クリックする。

テレビの画面にパソコンの画面が表示される。

テレビ画面の調整

テレビ画面の表示が見にくいときは、次のように調整してください。

1 [画面のプロパティ] の [設定] タブをクリックする。

2 [詳細設定] ボタンをクリックし、[(既定のモニタ) と RADEON IGP 340M のプロパティ] を開く。

3 [画面] タブをクリックし、[テレビ] の 

をクリックする。



4 必要に応じて画面の調整を行い、[OK] ボタンをクリックする。



ヒント

・ **各設定の詳細は、ヘルプをご参照ください。**

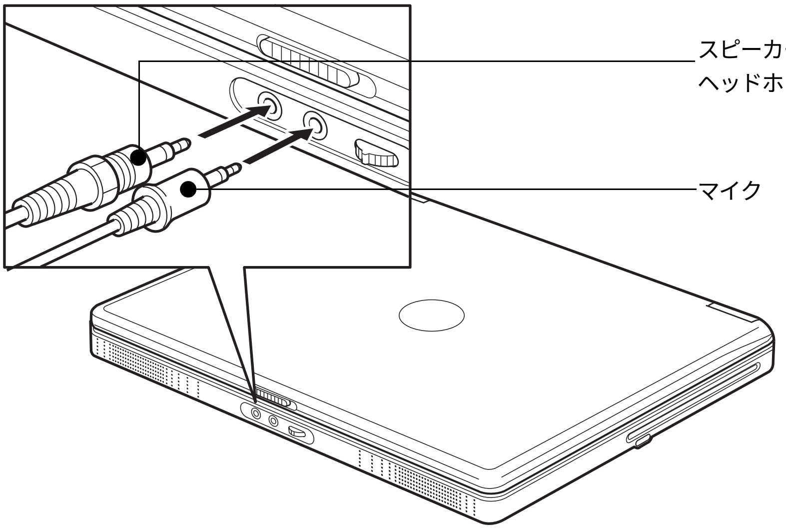
ヘッドホン、マイクを接続する

スピーカーやヘッドホンで音声データを再生したり、ゲームソフトのBGMなどを楽しめます。

接続方法

1 パソコンの電源を切る。

2 パソコン前面の各コネクターに、スピーカーやヘッドホン、マイクのコネクターを接続する。



⚠注意

・ **ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。**

重要

・ **ヘッドホンコネクターとマイクコネクターには、直径がφ13を超えるコネクターは接続できません。**
・ **ヘッドホンコネクターに接続した機器の音量は、スピーカーボリュームで調整できます。**
・ **ヘッドホンコネクターから出力される音質は、オーディオ装置より劣ります。**
・ **PCM音源の再生時に、PCM音源のデータによっては大音量が出力されることがあります。一度音量を最小にしてからヘッドホンを接続し、音量を調整し直してください。**
・ **ヘッドホンを接続している状態で電源スイッチをON/OFFすると、ヘッドホンから大きなノイズが発生することがあります。**
・ **一定時間音声の出力がないと、節電機能が働きスピーカーの電源が切れます。このとき、スピーカーからノイズが聞こえることがあります。**

ドルビーヘッドホンで聴く

ドルビーヘッドホン機能を使用して、ドルビーデジタル5.1チャンネルに対応したDVDビデオを臨場感のある音声で楽しむことができます。
ドルビーヘッドホン機能とは、映画館で聴くような立体的な音声を、ヘッドホンから再生することを可能にする機能のことです。ドルビーヘッドホン機能を使用するには、WinDVD(DVD再生ソフト)でドルビーヘッドホンの設定を行う必要があります。

1 **[スタート]ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD 4]－[InterVideo WinDVD for Hitachi]の順にクリックする。**
WinDVDが表示される。

2 **再生するDVDタイトルを、CD/DVDドライブに入れる。**

重要

- DVDをCD/DVDドライブに入れないと、「オーディオモード」の設定はできません。

3 **WinDVDの右端のボタンをクリックし、サブパネルの「オーディオモード」をクリックする。**



4 **[リスニング]を「ヘッドフォン」に変更する。**



5 **[ドルビーヘッドフォン]をクリックし、「ON」にする。**
ドルビーヘッドフォン機能が設定される。



6 **WinDVDの右端のボタンをクリックし、サブパネルを閉じる。**

マイクを使って録音する

マイクを使って自分の声などを録音し、パソコンに音声データとして保存することができます。

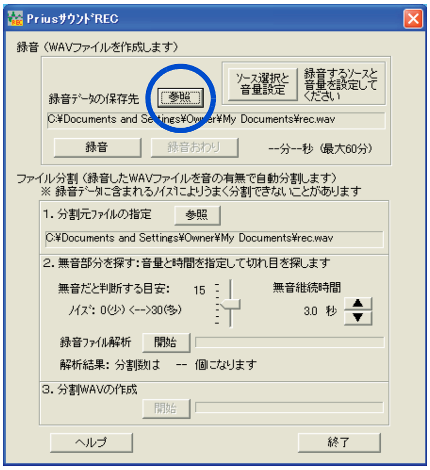
参照 録音レベルの調整→1章の「音量を調整する」

ここでは Prius サウンド REC を使って録音する方法を説明します。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] − [Prius ツール] − [Prius サウンド REC] の順にクリックする。**

[Prius サウンド REC] が表示される。

2 **[参照] ボタンをクリックする。**



[wav ファイルの選択] 画面が表示される。

3 **録音する wav ファイルを保存するフォルダーを指定し、ファイル名を入力し、[開く] ボタンをクリックする。**

[Prius サウンド REC] 画面に戻り、[参照] ボタンの下に入力したファイル名が表示される。

4 **[ソース選択と音量設定] ボタンをクリックする。**

[録音の調整] 画面が表示される。

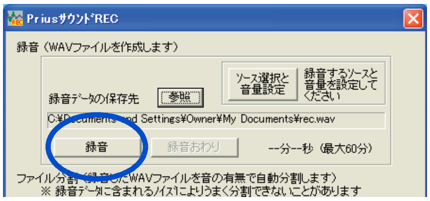
5 [Microphone] の [選択] をクリックし、チェック☑を入れ、スライドバーをドラッグして音量を調整する。



6 [×] ボタンをクリックする

画面が閉じる。

7 [録音] ボタンをクリックする。



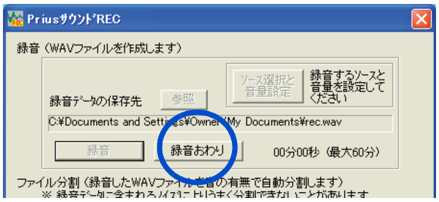
[録音の開始] 画面が表示される。

8 [開始] ボタンをクリックする。

録音が始まる。

9 マイクに向かって話す。

10 [録音おわり] ボタンをクリックする。



録音が終了する。

重要

- **内蔵スピーカーにマイクを近づけるとハウリングすることがあります。**
- **マイクの録音レベルを上げすぎるとハウリングすることがあります。適度なレベルに調整してお使いください。**
- **録音中は一時的にウィンドウの移動や終了などの操作ができません。**

ヒント

- **Prius サウンド REC の使い方は、[Prius サウンド REC] 画面の [ヘルプ] ボタンをクリックすると、参照できます。**

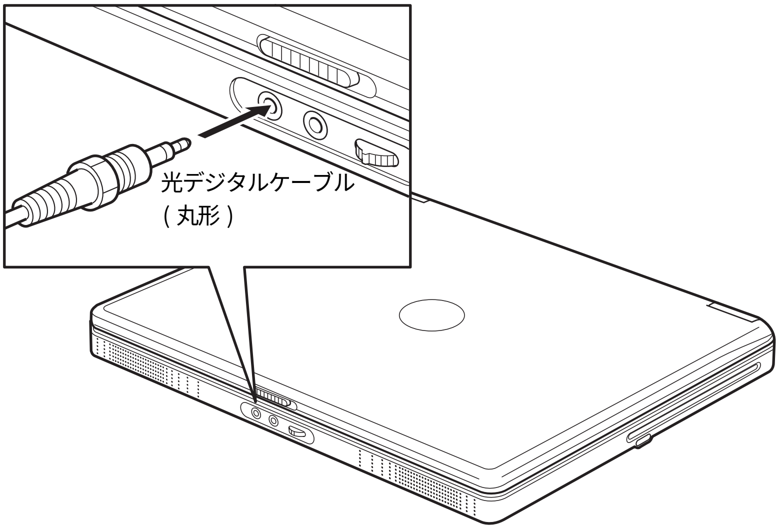
光デジタルオーディオ機器を接続する

このパソコンには、光デジタル入力が可能な MD レコーダーなどの光デジタルオーディオ機器を取り付けることができます。さらに、光デジタル入力端子付きのサラウンドアンプなどを接続し、映画館で聴いているような音声で聴くこともできます。

ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、光デジタルオーディオ機器のマニュアルをご参照ください。

接続方法

1 パソコン前面の光デジタル音声出力コネクターに、市販の光デジタルケーブルを接続する。



ヒント

- 光デジタルケーブルのコネクターには、角型と丸型があります。パソコン側のコネクターは、丸型です。接続する機器の形状に合わせてケーブルをご購入ください。
- 光デジタル音声出力コネクターは、ヘッドホンコネクターと兼用です。
- 接続しても光デジタルオーディオ機器が動作しない場合は、パソコンおよび光デジタルオーディオ機器の電源をすべて切ってから接続し直し、光デジタルオーディオ機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。
- サンプリング周波数 48kHz に対応した光デジタルオーディオ機器に接続できます。

4 メモリーボードを取り付ける

このパソコンに実装されているメモリー容量は、256MB です。メモリーボードを増設するとメモリー容量を最大 1024MB まで増やすことができます。

重要

- **仕様の異なるメモリーボードを取り付けないでください。正常に動作しない場合があります。**

参照 メモリーボードの仕様について→ 7 章の「メモリーボード」

増設作業時のお願い

⚠注意 **■ パソコン内部が冷えるまで待つ**
電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約 30 分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。

⚠注意 **■ 綿手袋を着用する**
パソコン内部に触れたり、メモリーボードに触れるときは綿手袋を着用してください。素手で触れると故障の原因になります。また、手にけがをおうおそれがあります。

注意 **■ 体から静電気を逃がしておく**
パソコンやメモリーボードは精密機器です。わずかな静電気も故障の原因になります。あらかじめ金属に触れるなどして、体から静電気を逃がしておいてください。

メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせかた

メモリーボードは、この表の組み合わせに従って増設してください。

メモリー実装容量 *1	メモリーボードソケット 1	メモリーボードソケット 2	
256MB	256MB	—	*2
384MB	256MB	128MB	
512MB	256MB	256MB	
768MB	256MB	512MB	
1024MB	512MB	512MB	

＊1：Windows の [システムのプロパティ] の [全般] タブでも確認できます。[スタート] ボタン－[コントロールパネル] をクリックし、[システム] アイコンをダブルクリックすると、[システムのプロパティ] が開きます。
＊2：標準

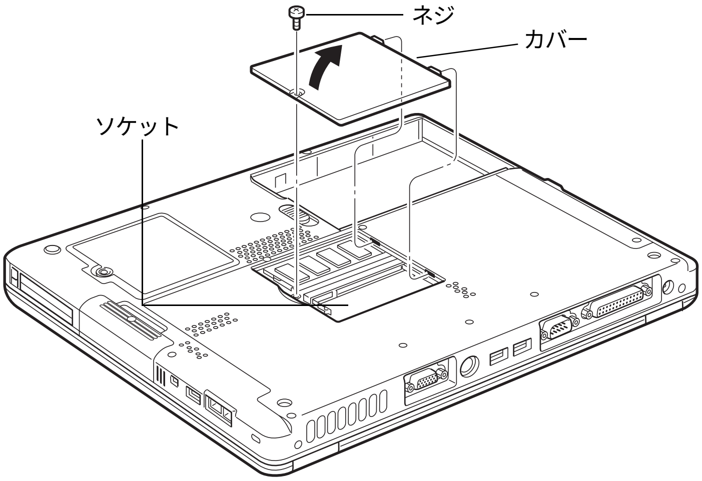
ヒント

- **メモリーを増設する場合に空きソケットがないときは、先に取り付けられているメモリーボードを取り外してください。**

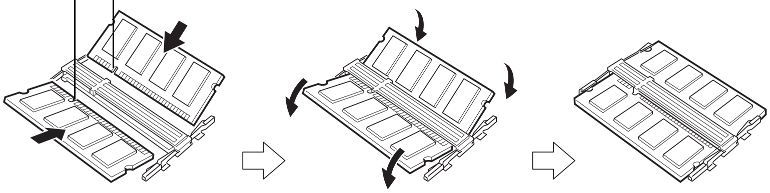
取り付け手順

1 **パソコンの電源を切り、AC アダプターとバッテリーパックをパソコンから取り外す。**

2 **パソコンを裏返し、ネジを外す。メモリーボードのカバーを横にずらして取り外す。**



3 **メモリーボードの切り欠きがソケットに合うようにしっかりセットする。**



重要

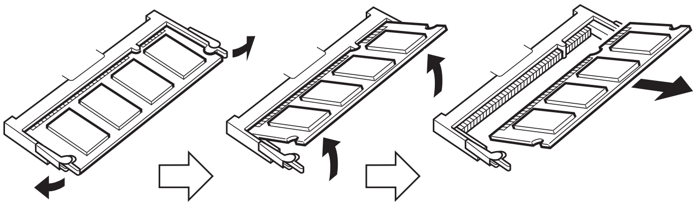
- メモリーボードは確実にロックしてください。メモリーが正しく増設されません。また、パソコン誤動作の原因となります。なお、誤った取り付け方をしたために発生した破損などについての修理は有償となります。あらかじめご了承ください。

4 **カバーを取り付け、ネジを締める。**

取り外し手順

1 取り付け手順1、2を行い、メモリーボードのカバーを取り外す。

2 ソケットの両端にあるラッチを外側に押し広げ、メモリーボードを取り外す。



3 カバーを取り付け、ネジを締める。

その他の周辺機器を取り付ける

通常、プラグアンドプレイ機能に対応している周辺機器を接続したときは、自動的に Windows が環境を設定します。プラグアンドプレイ機能に対応していない周辺機器を接続する場合は、[新しいハードウェアの追加ウィザード] を使って手動で環境を設定します。[新しいハードウェアの追加ウィザード] を使う前に、周辺機器に付属しているマニュアルをよくお読みください。そのマニュアルに操作手順が記載されている場合は、そちらの手順を行ってください。

ヒント

- メモリーの増設などでは、環境を設定する必要はありません。
- 周辺機器の取り付け･取り外しについては、この章や周辺機器に付属のマニュアルを参照してください。

周辺機器の取り付け手順

1 **パソコンの電源を切る。**

2 **AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、周辺機器を増設する。**

3 **AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、パソコンの電源を入れる。**

4 **[コントロール パネル] の [ハードウェアの追加] アイコンをダブルクリックする。**

[ハードウェアの追加ウィザード] が表示される。

5 **[次へ] ボタンをクリックする。**

6 **「はい、ハードウェアを接続しています」をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。**

7 **「新しいハードウェアデバイスの追加」をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。**

8 **「ハードウェアを検索して自動的にインストールする」をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする。**

新しい周辺機器の検出が始まる。しばらくすると、「ハードウェアの検出が完了し、インストールの準備ができました」と表示される。

ヒント

- メッセージが表示されず、増設した周辺機器が見つからないときは、[次へ] ボタンをクリックし、周辺機器に付属のマニュアルを参照するなどして手動で設定してください。

9 **[完了] ボタンをクリックする。**

検出された周辺機器のドライバーがインストールされる。

4章

セットアップする

この章では、

ご購入時にセットアップされていないアプリケーションなどの

セットアップ方法について説明します。

4 アプリケーションのセットアップ

ここでは、アプリケーションのセットアップについて説明します。ご購入時にセットアップされていないアプリケーションをセットアップする場合や、すでにあるアプリケーションをセットアップし直す場合にお読みください。

ヒント

- **機種によっては付属していないアプリケーションもあります。**
- **ここで説明する以外の方法で特殊なセットアップを行う場合は、各アプリケーションの販売元や開発元にお問い合わせください。**

参照 問い合わせ先→『困った時の Q&A』2 章の「お問い合わせ情報」

セットアップの前に

立ち上げ直しはセットアップがすべて終了してから

アプリケーションによっては、セットアップの終了後に Windows を立ち上げ直すかどうかを選ぶメッセージが表示されることがあります。このときは「再起動しない」や「あとで再起動します」などを選んでください。選んだアプリケーションのセットアップがすべて終了すると、立ち上げ直すかどうかのメッセージが表示されますので、そこで再起動を指定してください。

ほかのアプリケーションは終了させておく

セットアップを始める前に、ほかのアプリケーションはすべて終了してください。

既存のアプリケーショングループは削除しておく

すでに存在するアプリケーションを再セットアップする場合は、アプリケーションごと削除してから実行してください。削除せずに再セットアップを行うとアイコンが二重登録されることがあります。削除方法はアプリケーションによって異なり、次に説明する 2 つの方法のどれかになります。どれかわからない場合は、「アンインストーラーによる削除」から順に試してみてください。

ヒント

- **アンインストール中に、「共有ファイルを削除しますか？」と表示されることがあります。通常は [いいえ] ボタンを選びます。ほかのソフトウェアで使用されていないと分っている場合は [はい] ボタンを選んでください。**

参照 削除の方法→本章の「アプリケーションを削除する」

フォントの再セットアップはフォントファイルを削除してから

フォントファイルを再セットアップする場合は、フォントファイルを削除してから行ってください。

■ フォントファイルの削除

1 **[コントロール パネル] の [フォント] アイコンをダブルクリックする。**

2 **削除したいフォントを選び、右クリックして表示されるショートカットメニューの [削除] をクリックする。**

■ フォントファイルのセットアップ

アプリケーションによっては、フォントファイルはセットアップされない場合があります。このときは、アプリケーションをセットアップしたあとに、次の方法でフォントをセットアップしてください。

1 **[コントロール パネル] の [フォント] アイコンをダブルクリックする。**

2 **[ファイル] メニューの [新しいフォントのインストール] をクリックする。**

[フォントの追加] が表示される。

3 **[ドライブ] を CD/DVD ドライブに変更して、フォントの入っている CD-ROM をドライブに入れる。**

4 **[フォルダ] をフォントの入ってるフォルダーに変更する。**

[フォントの一覧] に、選んだフォントが表示される。

5 **[すべて選択] ボタンをクリックする。**

6 **[フォントフォルダにフォントをコピーする] にチェックが付いていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする。**

アプリケーションを削除する

アンインストーラーによる削除

1 **[スタート] ボタン－ [すべてのプログラム] をクリックし、削除するアプリケーションを選ぶ。**

2 **アンインストーラーをクリックする。**

ヒント

・ [×××のアンインストール] などとあるのがアンインストーラーです。アプリケーションによって名称は異なります。
・ アンインストーラーがない場合は、次項の「[プログラムの追加と削除] による削除」を行ってください。

3 **画面の指示に従って操作し、アプリケーションを削除する。**

[プログラムの追加と削除] による削除

1 **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックして [コントロールパネル] を開き、[プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。**

[プログラムの追加と削除] が表示される。

ヒント

・ [コントロールパネル] に [プログラムの追加と削除] アイコンが表示されていないときは、「クラシック表示に切り替える」をクリックすると表示されます。

2 **[プログラムの変更と削除] ボタンをクリックする。**

削除できるアプリケーションの一覧が表示される。

3 **削除するアプリケーションを選んで、[変更と削除] ボタンをクリックする。**

4 **画面の指示に従い、アプリケーションを削除する。**

・ 「筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI」をアンインストールする時、アンインストール中に［共有ファイルの検出］画面が表示されます。ここで、［次回からこのメッセージを表示しない。］チェックボックスをチェックして、［はい］ボタンをクリックしてください。[いいえ] または [キャンセル] ボタンをクリックすると、アンインストールが正常に終了しません。

アプリケーションのセットアップ

アプリケーションは、HDD イメージや『再セットアップ DVD』、各ソフトウェアに付属の CD を使ってセットアップします。セットアップで特別な制限や設定が必要なアプリケーションは、次の表の「設定」に○印があります。内容は後述の「各アプリケーションの制限や設定」をご参照ください。

重要

- **アプリケーションをセットアップするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）でセットアップしてください。**

ヒント

- **表の「一括セットアップ」に○印があるアプリケーションは、『再セットアップ DVD』の「一括セットアップ」でもセットアップできます。モデルによっては○印がない場合があります。**
- **表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。**
- **表の「インストールプログラム」は、各アプリケーションを個別にインストールする場合のプログラム収録ディスクを表します。▲印があるアプリケーションはアンインストールすると再インストールできません。**

アプリケーション一覧 DVD マルチドライブモデル		設定 ○：必要 －：不要	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：有り ×：無し	インストールプログラム HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ DVD CD：付属の CD
Microsoft Office XP Personal		－	×	○	CD(Office XP)
Microsoft Office XP Personal SP1/SP2		－	×	○	DVD
Prius AirView（TV 機能なし）		－	○	○	DVD
WinDVD Creator for HITACHI		○	○	○	DVD
DVD-RAM ドライバー		○	○	○	DVD
WinDVD4 for HITACHI		○	○	○	DVD
Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI		○	○	○	DVD
BeatJam for HITACHI		○	○	○	DVD
Prius ツール	Prius サウンド REC	－	○	○	DVD
	Prius で楽しもう！	－	○	○	DVD
	Prius 四字熟語	－	○	○	DVD
	Prius 一文字	－	○	○	DVD
	Prius 筆算	－	○	○	DVD
デジカメ Ninja2003 for HITACHI		○	○	○	DVD
ホームページ Ninja2003 for HITACHI		○	○	○	HDD
Konica オンラインラボ工房		○	○	○	HDD
Norton AntiVirus		○	×	×	DVD
ドリームネット サインアップ		－	○	○	HDD
@nifty でインターネット		○	○	○	HDD
AOL		○	○	○	HDD
ASAHI ネットサインアップ		○	○	○	HDD

アプリケーション一覧 DVD マルチドライブモデル	設定 ○：必要 －：不要	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：有り ×：無し	インストールプログラム HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ DVD CD：付属の CD
BIGLOBE	○	○	○	HDD
DION SIGNUP	○	○	○	HDD
ODN スターターキット	－	○	○	HDD
So-net 簡単スターター	○	○	○	HDD
わくわくナビ	－	○	○	DVD
筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI	○	○	○	DVD
かんたんラベル王 for HITACHI	○	×	○	CD(かんたんラベル王 for HITACHI)
らくらく家計簿ゆとりちゃん 5	○	○	○	DVD
駅すぱあと	○	○	○	DVD
時事通信社「家庭の医学」デジタル第 II 版	－	○	○	DVD
タイピングドリーム アフロ犬	○	○	○	DVD
安心楽々引越しパック *1	－	○	○	DVD
ノークリックバックアップ Auto-Grabber *1	－	○	○	DVD
Acrobat Reader	－	○	○	CD(活用百科)
Cyber Support for HITACHI	－	○	○	CD(活用百科)
メール着信設定 *2	－	○	○	DVD
自動ログオン設定プログラム	－	×	×	DVD
Information Ring 設定ユーティリティー	－	○	○	DVD
ワンタッチキー設定メニュー	－	○	○	DVD

＊1：Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI の一機能です。
＊2：Prius AirView をセットアップするとインストールされます。

アプリケーション一覧 DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブモデル	設定 ○：必要 －：不要	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：有り ×：無し	インストールプログラム HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ DVD CD：付属の CD
Microsoft Office XP Personal	－	×	○	CD(Office XP)
Microsoft Office XP Personal SP1/SP2	－	×	○	DVD
Prius AirView (TV 機能なし)	－	○	○	DVD
WinDVD Creator for HITACHI	○	○	○	DVD
WinDVD4 for HITACHI	○	○	○	DVD
Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI	○	○	○	DVD
BeatJam for HITACHI	○	○	○	DVD

アプリケーション一覧 DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブモデル		設定 ○：必要 －：不要	一括セットアップ ○：可能 ×：不可	購入時 ○：有り ×：無し	インストールプログラム HDD：HDD イメージ DVD：再セットアップ DVD CD：付属の CD
Prius ツール	Prius サウンド REC	－	○	○	DVD
	Prius で楽しもう！	－	○	○	DVD
	Prius 四字熟語	－	○	○	DVD
	Prius 一文字	－	○	○	DVD
	Prius 筆算	－	○	○	DVD
デジカメ Ninja2003 for HITACHI		○	○	○	DVD
ホームページ Ninja2003 for HITACHI		○	○	○	HDD
Konica オンラインラボ工房		○	○	○	HDD
Norton AntiVirus		○	×	×	DVD
ドリームネット サインアップ		－	○	○	HDD
@nifty でインターネット		○	○	○	HDD
AOL		○	○	○	HDD
ASAHI ネットサインアップ		○	○	○	HDD
BIGLOBE		○	○	○	HDD
DION SIGNUP		○	○	○	HDD
ODN スターターキット		－	○	○	HDD
So-net 簡単スターター		○	○	○	HDD
わくわくナビ		－	○	○	DVD
筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI		○	○	○	DVD
かんたんラベル王 for HITACHI		○	×	○	CD(かんたんラベル王 for HITACHI)
らくらく家計簿ゆとりちゃん 5		○	○	○	DVD
駅すぱあと		○	○	○	DVD
時事通信社「家庭の医学」デジタル第 II 版		－	○	○	DVD
タイピングドリーム アフロ犬		○	○	○	DVD
安心楽々引越しパック *1		－	○	○	DVD
ノークリックバックアップ Auto-Grabber *1		－	○	○	DVD
Acrobat Reader		－	○	○	CD(活用百科)
Cyber Support for HITACHI		－	○	○	CD(活用百科)
メール着信設定 *2		－	○	○	DVD
自動ログオン設定プログラム		－	×	×	DVD

＊1：Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI の一機能です。
＊2：Prius AirView をセットアップするとインストールされます。

HDD イメージからのセットアップ

重要

・ フォルダーやファイルを消去すると、セットアップができなくなります。

4 セットアップする

1 ［スタート］ボタン－［マイ コンピュータ］をクリックする。

［マイ コンピュータ］が表示される。

2 ［ローカルディスク (c:)］－［Documents and Settings］の順にダブルクリックする。

［Documents and Settings］が表示される。

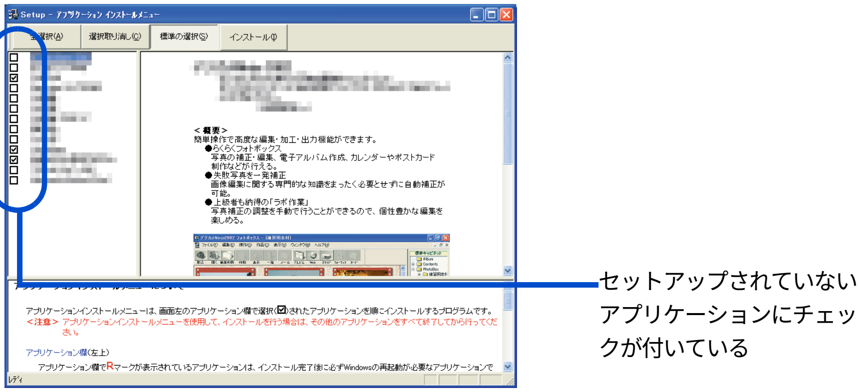
3 ［All Users］－［AP_Setup］の順にダブルクリックする。

［AP_Setup］が表示される。

4 ［INSTMENU］をダブルクリックする。

［アプリケーション インストールメニュー］が表示される。

5 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す。



重 要

- **［スタート］メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。**

ヒント

- **［アプリケーション インストールメニュー］の立ち上げ時に、［スタート］メニューに登録されているプログラム名でどのアプリケーションがセットアップ済みか判断します。セットアップされていないアプリケーションにチェックが付いています。［全選択］ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、［選択取り消し］ボタンをクリックします。アプリケーションのチェックがすべて消えます。［標準の選択］ボタンをクリックすると、［アプリケーション インストールメニュー］立ち上げ時の状態に戻ります。**

6 ［インストール］ボタンをクリックする。

セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。［キャンセル］ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

7 ［OK］ボタンをクリックする。

ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

8 本章の「各アプリケーションの制限や設定」を参照してインストールを行う。

参照 詳細について→本章の「各アプリケーションの制限や設定」

重要

・ アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。

9 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン（[実行] ボタン、[確認] ボタン、［OK］ボタンの場合もある) をクリックする。

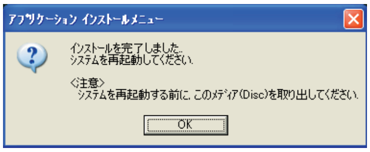
セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

10 ［OK］、[はい]、[完了] のいずれかのボタンをクリックする。

次にセットアップするアプリケーションがある場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

11 チェックしたアプリケーションの数だけ、手順 7 〜 10 を繰り返す。

終了すると、次の画面が表示される。



12 ［OK］ボタンをクリックする。

Windows が立ち上げ直される。

ヒント

・ アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数 10 秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。

『再セットアップ DVD』からのセットアップ

1 『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れる。

2 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

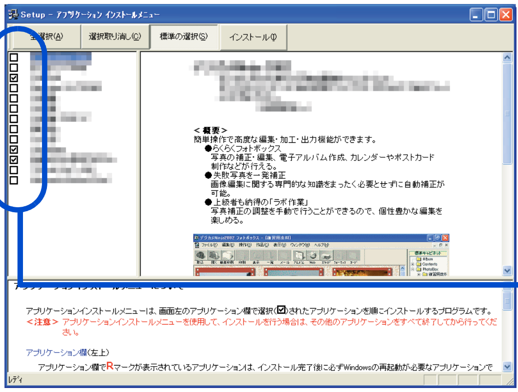
[ファイル名を指定して実行] が表示される。

3 e:\instmenu.exe と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

※ e は CD/DVD ドライブ名

[アプリケーション インストールメニュー] が表示される。

4 必要なアプリケーションにチェックを付け、それ以外のアプリケーションのチェックを消す。



セットアップされていないアプリケーションにチェックが付いている

重 要

- **[スタート] メニューに登録されているプログラムのフォルダー名は変更しないでください。インストールするアプリケーションを正常に判断できなくなります。**

ヒント

- **[アプリケーション インストールメニュー] の立ち上げ時に、[スタート] メニューに登録されているプログラム名でどのアプリケーションがセットアップ済みか判断します。セットアップされていないアプリケーションにチェックが付いています。[全選択] ボタンをクリックすると、すべてのアプリケーションにチェックが付き、[選択取り消し] ボタンをクリックすると、アプリケーションのチェックがすべて消えます。[標準の選択] ボタンをクリックすると、[アプリケーション インストールメニュー] 立ち上げ時の状態に戻ります。**

5 [インストール] ボタンをクリックする。

セットアップが始まり、アプリケーションごとにインストール開始確認画面が表示される。[キャンセル] ボタンをクリックすると、セットアップは中止される。

6 [OK] ボタンをクリックする。

ほとんどのアプリケーションは、これでセットアップが始まり、プログラムのインストール先フォルダーを指定する画面が表示される。

重 要

- **アプリケーションのインストール中に、ほかのアプリケーションのインストール開始の確認画面が表示される場合があります。現在インストールしているアプリケーションが終了してから、インストール開始の確認画面で［OK］、［はい］、［完了］のいずれかのボタンをクリックしてください。**
- **オプションの選択など指定項目が多くなっているアプリケーションもありますが、画面の指示に従ってください。特別な操作が必要な指定項目については、「各アプリケーションの制限や設定」で説明しています。**

参照 特別な操作が必要な指定項目について→本章の「各アプリケーションの制限や設定」

7 必要に応じてインストール先フォルダーを変更し、[継続] ボタン ([実行] ボタン、[確認] ボタン、[OK] ボタンの場合もある) をクリックする。

セットアップが終了すると、「セットアップが終了しました。」などの終了メッセージが表示される。

8 [OK] ボタンをクリックする。

複数のアプリケーションをセットアップする場合は、次のアプリケーションのセットアップが始まり、インストール開始確認画面が表示される。

9 セットアップするアプリケーションの数だけ、手順 6 ～ 8 を繰り返す。

セットアップがすべて終了すると、[アプリケーション インストールメニュー] の終了メッセージが表示される。

重要

- **アプリケーションによっては、セットアップ中に表示されるメッセージがウインドウの裏に隠れてしまうことがあります。セットアップが停止しているように見えたときは、[Alt] + [Tab] キーでウィンドウを切り替えてください。**

10 [OK] ボタンをクリックし、『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブから取り出す。

11 パソコンを立ち上げ直す。

Windows が立ち上がり、アプリケーションが使用できるようになる。

重要

- **必ず『再セットアップ DVD』を取り出してからパソコンを立ち上げ直してください。**
- **『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れたまま、パソコンを立ち上げ直すと、一括セットアップを開始する画面が表示されます。**
- **アプリケーションによっては、セットアップ中に画面表示が数十秒間変化しない場合があります。しばらくお待ちください。**

付属の CD からのセットアップ

セットアップ方法については、各ソフトウェアに付属のマニュアルまたは、『接続と準備』の「6. 再セットアップについて」「3. アプリケーションをセットアップする」「添付ソフトウェアの CD-ROM からのセットアップ」をご参照ください。

ヒント

- **表の「購入時」に○印のあるアプリケーションは、購入時にセットアップされています。**

アプリケーション一覧	購入時 ○:有り ×:無し	セットアップ方法
Microsoft Office XP Personal	○	『接続と準備』「6. 再セットアップについて」の「3. アプリケーションをセットアップする」
Microsoft Office XP Personal SP1/SP2	○	購入時には、Microsoft Office XP Service Pack 1 および 2 が適用済みです。これら Service Pack の再インストール時は付属の再セットアップ DVD より行ってください。
Acrobat Reader	○	本章後述の「ドライバー、ユーティリティーのセットアップ」
Cyber Support for HITACHI	○	本章後述の「ドライバー、ユーティリティーのセットアップ」
かんたんラベル王 for HITACHI	○	『接続と準備』「6. 再セットアップについて」の「3. アプリケーションをセットアップする」

各アプリケーションの制限や設定

アプリケーションによっては、「通常のセットアップ」で説明した手順と異なる手順が必要だったり、特別な制限がある場合があります。そのようなアプリケーションをセットアップするときは、開始前に該当するアプリケーションの項目をお読みください。

ヒント

- **各アプリケーションの情報については、アプリケーション提供元のホームページをご参照ください。**
- **市販のアプリケーションをご利用の場合、Windows XP で動作するか、各メーカーにお問い合わせください。**

重要

- **アプリケーションは、コンピュータの管理者権限を持つユーザーで使用してください。制限ユーザーでは使用できないアプリケーションがあります。**

WinDVD Creator for HITACHI

- 市販されている「WinDVD Creator」や「WinDVD Creator Plus」と「WinDVD Creator for HITACHI」は同一パソコン内に両方ともインストールすることはできません。市販の「WinDVD Creator」や「WinDVD Creator Plus」をインストールするときには、事前に「WinDVD Creator for HITACHI」を必ずアンインストールしてください。
- [ユーザ情報] 画面が表示されたら、名前と所属を入力して [次へ] ボタンをクリックしてください。
- [セットアップの完了] 画面では、[いいえ、後でコンピュータを再起動します。] のチェックボックスにチェックを入れて、[完了] ボタンをクリックしてください。
- インストール中に、[[HTML Help 1.31 Update] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.] というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。

DVD-RAM ドライバー (DVD マルチドライブモデル)

- [InstallSheild ウィザードの完了] 画面で、[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。] のチェックボックスにチェックを入れ、[完了] ボタンをクリックしてください。

WinDVD4 for HITACHI

- 市販されている「WinDVD」と「WinDVD4 for HITACHI」は、同一パソコン内に両方ともインストールすることはできません。市販の「WinDVD」をインストールするときは、事前に「WinDVD4 for HITACHI」を必ずアンインストールしてください。
- インストール中に、[[HTML Help 1.31 Update] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.] というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。

Drag'n Drop CD+DVD for HITACHI

- インストール中に、[[Windows Media Format 7.1 file Setup] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.] というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。

・［セットアップは、コンピュータへのファイルコピーを完了しました。］と表示されたら、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」にチェックを入れて［OK］ボタンをクリックしてください。

BeatJam for HITACHI

・［BeatJam のセットアップ］画面が表示されたら、［BeatJam のセットアップ］ボタンをクリックしてください。
・インストール中に、[[Windows Media Format 7.1 file Setup] ※ Command line option syntax error. Type Command /? For Help.] というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。このメッセージはアカウント名に全角文字を使用した場合などに表示されます。このメッセージが表示されても正常にインストールされます。
・［ファイルの関連付け］画面では、使い方にあわせて必要な拡張子のファイルを BeatJam に関連付けてください。
・［BeatJam のセットアップが終了しました］というメッセージが表示されたら、［セットアップ終了］ボタンをクリックしてください。

デジカメ Ninja2003 for HITACHI

・［readme.txt］が表示されたら、［readme.txt］を閉じてください。
・［デジカメ Ninja 2003］のフォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

ホームページ Ninja2003 for HITACHI

・［InstallSheild Wizard の完了］画面で、［「お使いになる前に」を表示します。］のチェックボックスをクリックして空欄にし、［完了］ボタンをクリックしてください。

Konica オンラインラボ工房

・［コニカ オンラインラボ工房インストーラー］画面が表示されたら、［インストールする］をクリックしてください。

Norton AntiVirus

・AntiVirus のウイルス定義の更新など、無料サポートはインストールしてから 90 日間のみになります。インストール後 90 日間を過ぎた場合は有料サポートになります。

@nifty でインターネット

・［@nifty でインターネットのインストール完了］画面で、［インストール終了後、Readme を表示する。］のチェックボックスをクリックして空欄にし、［完了］ボタンをクリックしてください。

AOL

・「AOL のインストールをする前に現在起動している以下のアプリケーションを終了してください」のメッセージで表示される「Setup- アプリケーション インストールメニュー」は無視してください。「Setup- アプリケーション インストールメニュー」以外のアプリケーションは終了するようにしてください。
・［AOL へ接続します］画面が表示されたら、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。［キャンセルの確認］画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。
・［設定とサインオン］画面が表示されたら、ウインドウを閉じてください。
・［AOL］画面が表示されたら、ウインドウを閉じてください。

ASAHI ネットサインアップ

・［ASAHI ネット］の紹介 HTML が表示されたら、インターネットエクスプローラを閉じてください。

インターネットするなら BIGLOBE

・[Install Shield ウィザードの完了] 画面で、「続けて本製品を利用する」のチェックを外して、[完了] ボタンをクリックしてください。

DION

・[DION(KDDI) のご紹介] フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

So-net 簡単スターター

・[InstallSheild Wizard の完了] 画面で、「So-net 簡単スターター V2.3 の起動」のチェックボックスをクリックして空欄にし、[完了] ボタンをクリックしてください。

筆ぐるめ Ver.10 for HITACHI

・[筆ぐるめ Ver.10 セットアップメニュー] 画面が表示されたら、[筆ぐるめ Ver.10 セットアップ] をクリックしてください。

・[ユーザ情報] 画面が表示されたら、ユーザ名と所属を入力し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

・[※筆ぐるめの設定変更を有効にするには再起動する必要があります。」と表示されたら、[いいえ] ボタンをクリックしてください。

かんたんラベル王 for HITACHI

・[InstallSheild Wizard の完了] 画面で、[「お使いになる前に」を表示します。] のチェックボックスをクリックして空欄にし、[完了] ボタンをクリックしてください。

らくらく家計簿ゆとりちゃん 5

・[らくらく家計簿ゆとりちゃん 5 セットアップ] 画面が表示されたら、[セットアップ] ボタンをクリックしてください。

・[ゆとりちゃん 5] フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

駅すぱあと

・[駅すぱあと 全国版] フォルダーが表示されたら、フォルダーを閉じてください。

タイピングドリーム アフロ犬

・[ユーザ情報] 画面が表示されたら、ユーザ名と所属を入力し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

ドライバー、ユーティリティーのセットアップ

ドライバーやユーティリティーは標準でセットアップされています。何らかの理由でドライバーなどが壊れた場合にセットアップし直してください。

ヒント

- **セットアップを行うと、ご購入時の設定と異なることがあります。**
- **CD/DVD ドライブをドライブ e として説明しています。ドライブ名は機種により異なる場合があります。**
- **ドライバーやユーティリティーの追加を行うと、Windows の CD-ROM を要求するメッセージが表示されることがあります。このときは、「ファイルのコピー元」に C:\windows\i386 と入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。インストールが実行されます。**

セットアップ方法

次のドライバーやユーティリティーなどをセットアップする方法を説明します。

- 表示ドライバー
- サウンドドライバー
- モデムドライバー
- LAN ドライバー
- タッチパッドドライバー
- Acrobat Reader
- CyberSupport for HITACHI

重要

- **パソコンの電源を入れ、管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。**
- **セットアップは、アプリケーションを終了させてから行ってください。実行中に行うと正しく動作しないことがあります。**
- **ドライバーのセットアップを完了後、『再セットアップ DVD』を取り出して、Windows を立ち上げ直してください。ドライバーによっては、自動で立ち上げ直される場合もあります。**
- **『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れたままパソコンを立ち上げ直すと、一括セットアップを開始する画面が表示されます。**

表示ドライバー

1 [スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。

[ファイル名を指定して実行] が表示される。

2 CD/DVD ドライブに『再セットアップ DVD』を入れ、e:\drivers\svga\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。

※ e は CD/DVD ドライブ名

[ATI ソフトウェア セットアップへようこそ] が表示される。

3 [次へ] ボタンをクリックする。

[使用許諾契約] が表示される。

4 **[はい] ボタンをクリックする。**

[コンポーネントの選択] が表示される。

5 **[標準] ボタンをクリックする。**

6 **[はい、直ちにコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認し、[完了] ボタンをクリックする。**

Windows が立ち上げ直される。

サウンドドライバー

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

[ファイル名を指定して実行] が表示される。

2 **CD/DVD ドライブに『再セットアップ DVD』を入れ、e:\drivers\sound\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

※ e は CD/DVD ドライブ名

[SoundMAX 用の InstallShield ウィザードへようこそ] が表示される。

3 **[次へ] ボタンをクリックする。**

ファイルがインストールされ、[InstallShield ウィザードの完了] が表示される。

4 **[はい、直ちにコンピュータを再起動します。] を選択して、[完了] ボタンをクリックする。**

パソコンが立ち上げ直される。

モデムドライバー

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**

[ファイル名を指定して実行] が表示される。

2 **CD/DVD ドライブに『再セットアップ DVD』を入れ、e:\drivers\modem\setup と入力して [OK] ボタンをクリックする。**

[Modem] 画面が表示される。

※ e は CD/DVD ドライブ名

3 **[OK] ボタンをクリックする。**

ファイルがコピーされ終了すると、ウィンドウが閉じられる。

4 **[デバイスマネージャ] を開き、[モデム] の [Agere Systems AC'97 Modem] をダブルクリックする。**

[Agere System AC'97 Modem のプロパティ] が表示される。

5 **[詳細設定] タブの、[国または地域の選択] を [日本] に設定して [OK] ボタンをクリックする。**

6 **[成功] ウィンドウが出るので [OK] ボタンをクリックする。**

LAN ドライバー

1 **CD/DVD ドライブに『再セットアップ DVD』を入れる。**

2 **[スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。**

3 **[パフォーマンスとメンテナンス]、[システム] の順にアイコンをクリックし、[システムのプロパティ] を開く。**

4 **[ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする。**

5 **[デバイス マネージャ] の [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックする。**

6 **[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC] をダブルクリックする。**
[Realtek RTL8139 Family PCI Fast Ethernet NIC のプロパティ] が表示される。

7 **[ドライバ] タブの [ドライバの更新] ボタンをクリックする。**
[ハードウェアの更新ウィザードの開始] が表示される。

8 **[一覧または特定の場所からインストールする] を選択して 、[次へ] ボタンをクリックする。**
[検索とインストールのオプションを選んでください] が表示される。

9 **[次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] にチェックを付け、e:\drivers\lan と入力し [次へ] ボタンをクリックする。**
※ e は CD/DVD ドライブ名
[ハードウェアの更新ウィザードの完了] が表示される。

10 **[完了] ボタンをクリックする。**

11 **[Realtek RTL8139/810x Family Fast Ethernet NIC のプロパティ] 画面の [閉じる] ボタンをクリックする。**

タッチパッドドライバー

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**
[ファイル名を指定して実行] が表示される。

2 **CD/DVD ドライブに『再セットアップ DVD』を入れ、e:\drivers\touchpad\setupto と入力して [OK] ボタンをクリックする。**
※ e は CD/DVD ドライブ名
[ようこそ] 画面が表示される。

3 **[次へ] ボタンをクリックする。**
[重要なお知らせ] 画面が表示される。

4 **[次へ] ボタンをクリックする。**
[ファイルコピーの開始] 画面が表示される。

5 **[次へ] ボタンをクリックする。**
ファイルがセットアップされ、[セットアップ完了] 画面が表示される。

6 **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] がチェックされていることを確認し、[完了] ボタンをクリックする。**
Windows が立ち上げ直される。

Acrobat Reader

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**
「ファイル名を指定して実行」が表示される。

2 **CD/DVD ドライブに『活用百科 CD』を入れ、e:\install\ar505jpn と入力して [OK] ボタンをクリックする。**
※ e は CD/DVD ドライブ名
[Adobe Acrobat 5.0.5 のセットアップ] が表示される。

3 **画面の指示に従ってインストールする。**
終了すると [情報] が表示される。

4 **[OK] ボタンをクリックする。**

CyberSupport for HITACHI

重 要

- **電子マニュアルがインストールされていないと、データベースが正しく作成されません。ご購入時には、あらかじめインストールされています。**

1 **[スタート] ボタン－ [ファイル名を指定して実行] をクリックする。**
「ファイル名を指定して実行」が表示される。

2 **CD/DVD ドライブに『活用百科 CD』を入れ、e:\install\cybersupport\setup と入力して、[OK] ボタンをクリックする。**
※ e は CD/DVD ドライブ名
[CyberSupport for HITACHI] が表示される。

3 **[はい] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールする。**
「CyberSupport を実行するにはマシンの再起動が必要です。」とメッセージが表示される。

4 **[完了] ボタンをクリックする。**

パソコンが立ち上げ直される。

4 Windows ファイルを追加セットアップする

Windows 固有のソフトウェアは次の手順でセットアップできます。必要に応じてセットアップしてください。

1. [スタート] ボタン－ [コントロール パネル] をクリックする。
2. [コントロール パネル] の [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。
3. [Windows コンポーネントの追加と削除] ボタンをクリックする。
4. [Windows コンポーネントウィザード] で、必要なソフトウェアにチェックを付ける。
5. 1 つの項目に複数のソフトウェアが含まれている。全部をセットアップしない場合は [詳細] ボタンをクリックし、必要のないソフトウェアのチェックを消して [OK] ボタンをクリックする。
6. [次へ] ボタンをクリックし、[完了] ボタンをクリックする。追加するファイルによっては、立ち上げ直すメッセージが表示される。その場合は、立ち上げ直すとセットアップが終了する。

パーティションの設定

HDD を複数の領域に分け、それぞれ別のドライブとして使用する場合にはパーティション（使用可能領域）を設定し直します。

重要

- **ある程度パソコンについての知識を必要とする説明があります。初心者の方や HDD の知識をあまりお持ちでない方は、お勧めできません。特に問題がない場合は、ご購入時のままの領域でお使いください。**
- **パーティションを設定し直すと、HDD 内のデータはすべて削除されます。あらかじめ CD-R やその他の媒体に必要なファイルのバックアップを取ってください。インターネットやメールなどの設定も控えておいてください。**

1 電源を入れたら、すぐに『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れる。

メニューが立ち上がる。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊    一括インストールを行います                                ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊     この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて         ＊＊
＊＊     パソコンのハードディスクをご購入時の状態に戻します。     ＊＊
＊＊     さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、                ＊＊
＊＊     ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。      ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊     続行するとハードディスクの内容が一部消去されます。       ＊＊
＊＊     必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して   ＊＊
＊＊     先にバックアップを取ってください。                       ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
+----------------------------------------------------------------+
: (1) 一括インストールを行う                                     :
+----------------------------------------------------------------+
: (2) 一括インストールの中断する                                 :
+----------------------------------------------------------------+
                        選択  (1/2)?:
```

4 セットアップする

2 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```
************************************
**                                **
**   一括インストールを行います           **
**                                **
**   一括インストールの方法を選択してください   **
**                                **
************************************
：(1) 現在のドライブ C だけを一括インストールする             ：
：    －現在のドライブ C の内容は消去されます                ：
：    －ドライブ C 以外のドライブは消去されません。            ：
：    －ドライブ C の容量は変更できません。                 ：
+-----------------------------------------------------------------+
：(2) ハードディスクを初期化した後、一括インストールする         ：
：   －ハードディスクのデータはすべて削除されます。            ：
：    －新たにドライブ C の容量を設定できます。               ：
+-----------------------------------------------------------------+
：(3) 一括インストールを中断する                          ：
+-----------------------------------------------------------------+
                    選択  (1/2/3)?:
```

3 [2] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```
************************************
**                                **
**   新規にドライブ C に一括インストールを行います   **
**                                **
**  ＜警告＞                          **
**   続行するとドライブ C の内容はすべて消去されます。  **
**   必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して **
**   先にバックアップを取ってください。           **
**                                **
**   現在のドライブ C に対して一括インストールを行いますか？ **
**                                **
************************************
：(1) 現在のドライブCに一括インストールする                 ：
：    －ドライブ C のみを初期化し、一括インストール       ：
+-----------------------------------------------------------------+
：(2) 一括セットアップを中断する                          ：
+-----------------------------------------------------------------+
                    選択  (1/2)?:
```

4 [1] キーを押す。

ドライブCのサイズ変更画面が表示される。

```
*************************************
**                                 **
**   ハードディスクに新規に作成するドライブ C の   **
**   サイズを指定します。              **
**                                 **
**   設定可能なドライブ C のサイズの範囲は    **
**       最小値：XXXXXXXXXX ＭＢ       **
**       最大値：XXXXXXXXXX ＭＢ       **
**   です。                          **
**                                 **
**  －設定可能なサイズの範囲内でドライブ C のサイズを入力した後、 **
**   Enter キーを押してください。( サイズの単位は ＭＢ)  **
**  －サイズを入力しないで Enter キーを押すと      **
**     デフォルト値：XXXXXXXXXX ＭＢ      **
**   で新規にドライブ C を作成します。        **
**                                 **
*************************************
        ドライブ C のサイズを入力して下さい：
```

5 デフォルト値は最大サイズに設定されているので、パーティションに割り当てるサイズを入力し［Enter］キーを押す。

確認のメッセージが表示される。

ヒント

- ここで作成したドライブがドライブCになり、自動で立ち上げドライブとして設定されます。
- 任意に領域を決めて作成するドライブは、立ち上げドライブとして設定されません。
- 立ち上げドライブの領域のサイズが、一括セットアップするデータより小さい場合は、一括セットアップ時、セットアップできるHDDのサイズまで自動で割り当て直します。

6 [Y] キー、［Enter］キーを押す。

パーティションの設定が開始される。

7 画面の指示に従って、CD/DVDドライブから取り出したあと、［Ctrl］キーと［Alt］キーを押したまま、［Delete］キーを押す。

パソコンが立ち上げ直され、[Microsoft Windowsへようこそ] 画面が表示される。

8 画面の指示に従って、Windows環境をセットアップする。

参照 詳細について→『接続と準備』の「3. 電源を入れよう」「使用許諾に同意しよう」

重要

- 一括セットアップを行うと「画面のプロパティ」、「色」の設定が「中（16ビット）」に変更される場合があります。必要に応じて標準値に設定し直してください。

参照 「画面のプロパティ」の設定について→1章の「ディスプレイを調整する」「ディスプレイの表示を変える」

9 [スタート] ボタン－ [コントロールパネル] をクリックする。

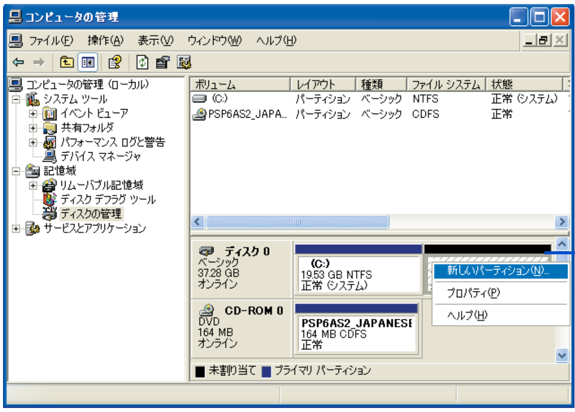
10 [管理ツール] アイコンをダブルクリックする。

11 [コンピュータの管理] アイコンをダブルクリックする。

12 [記憶域] − [ディスクの管理] をクリックし、ディスクの構成を表示する。

13 [未割り当て] 領域を右クリックし、[新しいパーティション] をクリックする。

［新しいパーティションウィザード］画面が表示される。



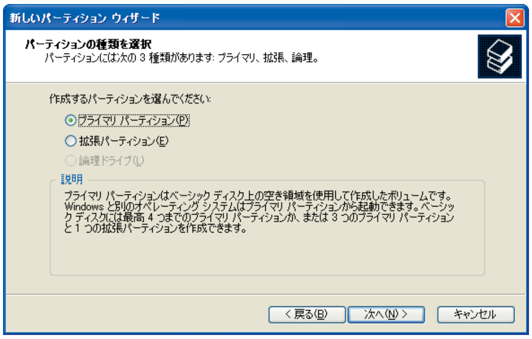
［未割り当て］領域

14 [次へ] ボタンをクリックする。

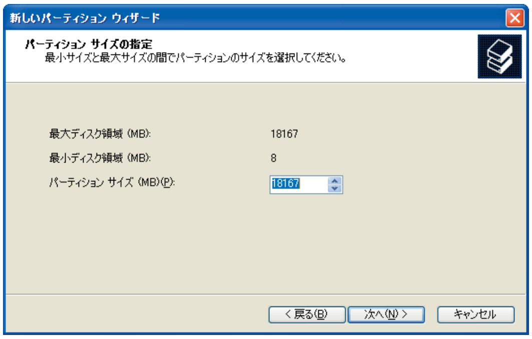
15 [プライマリパーティション] を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。

ヒント

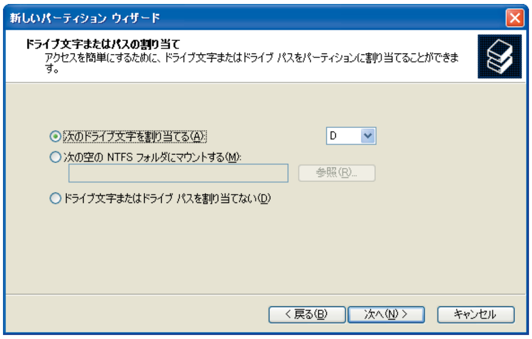
・ 5 つ以上のパーティションを作成する場合は、［拡張パーティション］を選択し、画面の指示に従って、パーティションを作成してください。



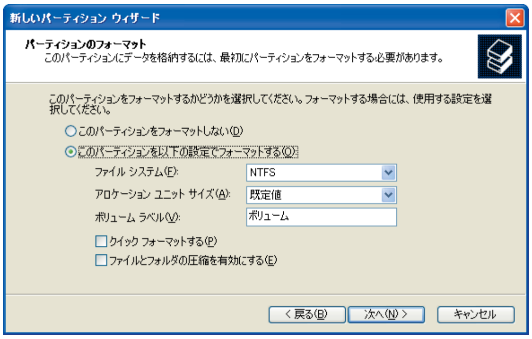
16 パーティションのサイズを入力し、[次へ] ボタンをクリックする。



17 ドライブ名を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



18 フォーマットする方法を選択し、[次へ] ボタンをクリックする。



19 [完了] ボタンをクリックする。

パーティションが作成され、新しいドライブができる。

5章

日常のお手入れ

この章では、

パソコンの各部分および周辺機器のお手入れや

消耗品について説明します。

4 お手入れ

ここではパソコンと液晶ディスプレイのお手入れについて説明します。
お手入れをするときは、電源を切り、コンセントを抜いてから行ってください。

重要

- **シンナーやベンジン、化学雑巾は使わないでください。パソコンの表面が変質するおそれがあります。**

パソコン

パソコンが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤で湿らせた布を固く絞ってふくか、市販の専用クリーナーをお使いください。

液晶ディスプレイ

液晶ディスプレイが汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

重要

- **液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。**
- **ティッシュペーパーを使った場合でも強くこするとキズがつく場合があります。**

CD/DVD ドライブのクリーニング

CD/DVD ドライブは防塵構造になっていますので、クリーニングの必要はありません。

重要

- **市販のハケ状のブラシがついてたクリーニングディスクは使用しないでください。**
  CD/DVD ドライブのレンズを破損する原因になります。

6章

トラブルと思ったら

この章では、

パソコンおよび周辺機器の使用環境、使用方法における制限を説明します。

この章を参照して対処してください。

このほかのトラブルについては、『困った時の Q&A』をご参照ください。

4 制限事項

パソコンおよび周辺機器を使用する環境について

- 寒い場所では、室温を動作時周囲温度まで上げたあと 20 ～ 30 分経過してからお使いください。

  参照 最適な湿度について→ 7 章の「パソコン仕様一覧」
- 暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定になってからお使いください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。また、毛布の上など、熱のこもりやすい場所で使用しないでください。
- ほこりが極端に多い場所では、使用しないでください。
- 極端に高温、低温の場所、または温度変化が激しい場所では使用しないでください。また、湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。

  参照 最適な湿度について→ 7 章の「パソコン仕様一覧」
- 腐食性ガスや塩分を多量に含む空気などは、パソコンおよび周辺機器の表面を化学的に腐食させます。そうなると、電子部品の接触抵抗が増加したり、可動部品の構造がもろくなり、パソコンおよび周辺機器の信頼性が著しく低下します。そのため、パソコンや周辺機器は腐食性ガス (特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど) や塩分を多量に含む空気などが発生しない場所に設置してください。
- パソコンを使用している場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生し、突然ディスプレイの表示が消えることがあります。
  このときは、一度パソコンの電源を切って立ち上げ直してください。

パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて

- ハードウェアの破損に伴うデータやアプリケーションの破損については、補償いたしかねます。あらかじめご了承ください。
- Windows の立ち上げ中や使用中に強制終了すると、次回立ち上げ時にチェックプログラムが動くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がりますが、異常がある場合は HDD をフォーマットしないとパソコンが使用できない場合もあります。
- 電源を切ってから再び電源を入れるまでに、必ず 10 秒以上お待ちください。連続して電源を入り切りする (瞬時停電も含む) と保護機能が働くことがあります。このときは、一度電源を切って、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜きます。
  10 秒以上経過してから AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
- パソコンは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃を与えないでください。
- パソコンを立てかけて置くと、倒れた場合に壊れることがあります。絶対に立てかけないでください。
- 磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけると、パソコンおよび周辺機器の故障の原因になります。

- CRT ディスプレイは、磁気を発生するものや高圧線の近くで使用すると、色が乱れたり、画像がゆがんだりすることがあります。磁気の発生源からできるだけ離してご使用ください。
- ディスプレイを背中合わせに設置したり並べて配置する場合は、互いに少し離して配置してください。
- ディスプレイ部はガラスでできています。ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。
- マウスやモデムなど、周辺機器は外部からのノイズに弱いものがあります。周辺機器が誤動作する場合は、パソコンおよびその周辺機器の電源を同一のノイズフィルター付き ＯＡ タップからとることをお勧めします。
- パソコンを持ち運ぶときは、電源を切るか、またはシステムスタンバイ状態にして 5 秒以上経過し、HDD の回転が完全に止まってから持ち運んでください。HDD の回転中にパソコンを動かすと故障の原因になります。
- パソコンを持ち運ぶときは、両手でしっかり持ってください。片手でぶら下げたりしないでください。
- Windows でコマンドプロンプトを使用する場合は英語環境にしないでください。正しく動作しないことがあります。
- 煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどでパソコンを完全に包んでください。
- じゅうたんのある部屋でパソコンを使用したり、パソコンの使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によっては静電気が発生し、パソコンおよび周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくい材質のものをお使いください。
- HDD、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM の読み込み、書き込み中にはパソコンの電源を切ったりソフトウェアリセットを行ったり、節電機能を働かせないでください。

通信に関する制限

- 通信中にはパソコンの電源を切ったりソフトウェアリセットを行ったり、節電機能を働かせないでください。
- モデム着信による、休止状態および電源を切った状態からの復帰はできません。

ディスプレイに関する制限

扱い方について

・ パソコンの使用温度範囲は、10 ℃〜 35 ℃です。10 ℃未満の環境でご使用になると画面が暗くなったり、表示できなくなったりします。使用温度範囲のところで、電源を入れ直してください。
・ ディスプレイ部の開閉は、ディスプレイ部の中央上側を持って行ってください。
・ ディスプレイ部を閉じるときは、HDD、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM が停止していることを確認してから行ってください。
・ ディスプレイには保護カバーが付いていませんが、使用上は問題ありません。ただし、表面を強く押したりすると、故障の原因となることがあります。
・ ディスプレイ表面に水滴や指紋など汚れが付いたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
・ 表示全体の明るさを最大にすると、バックライトの寿命が短くなります。[Fn]+[F8] キーや [Fn]+[F9] キーで調整してください。通常は中程度の明るさでご使用ください。

表示について

・ 表示するパターンによっては、微妙な輝点 (指定の色と関係なく光る点) や黒点 (指定の色が表示できない点) が見えたり、罫線や文字の一部が欠けることがあります。ただし、輝点や黒点の数は、使用中に著しく増加することはありません。
・ 表示するパターンによっては、画面がちらつくことがあります。画面の明るさやディスプレイ部の角度を調整すると、見やすくなることがあります。
・ 長時間同じパターンを表示していると、画面が切り替わったときにも前のパターンが薄く見えることがあります。これは時間が経過すると消えます。
・ 長時間連続してご使用になると、液晶の温度が上昇し、コントラストが少し変化したりムラが出ることがあります。これは液晶の温度が下がるともとに戻ります。
・ 電源を入れたまま長時間ディスプレイを閉じておくと、表示にムラが出ることがあります。これはディスプレイを開けて放置しておくともとに戻ります。
・ パソコンを立ち上げた直後は、画面の明るさが暗いことがあります。これは時間の経過とともに正しく見えるようになります。
・ 画面の色数が最高 (32 ビット) 以上のときは、AVI ファイルなどの動画をフルスクリーンで再生しても、再生するファイルによっては画面いっぱいに表示されないことがあります。このときは、最高 (32 ビット) よりも少ない色数に設定するとフルスクリーンで表示されます。
・ 多色表示と液晶の構造により、上方向からディスプレイの表示は見えにくくなっています。見やすい角度にしてご使用ください。

AC アダプターに関する制限

・ 絶対に分解しないでください。
・ 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
・ 水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
・ 布団の上や中など熱がこもるような環境で使用したり、狭い場所に放置したりしないでください。
・ 上に物を置かないでください。
・ 必ず付属のコードセット（電源コード）を使ってください。

バッテリーに関する制限

参照 バッテリーの使用について→1章の「バッテリーの使用について」

HDD の容量表示について

HDD は、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。
HDD のエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDD の不良ではありません。
取り付けられている内蔵 HDD の容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次の通りです。内蔵 HDD が複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。なお、＊は7章の「パソコン仕様一覧」の HDD の欄をご参照ください。

内蔵 HDD 容量	全ディスク容量
＊ GB	＊× 1000000000 バイト以上

7 章

技術情報

この章では、

パソコンのシステム構成および仕様について

説明します。

4 パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名		Prius Note 100F		
形名		100F5TVP	100F5TVC	100F5TMC
インストール OS		Microsoft® Windows® XP Home Edition		
CPU		Mobile Pentium 4 2.0GHz	Mobile Celeron 1.8GHz	Mobile Celeron 1.7GHz
キャッシュメモリー	1 次 (CPU 内蔵)	20KB	32KB	
	2 次 (CPU 内蔵)	512KB	256KB	
RAM	標準メモリー (ヒント 1)	256MB (DDR SDRAM)		
	最大メモリー	1024MB		
	ビデオメモリー	16MB(DDR SDRAM) メインメモリを共用		
ROM		BIOS 512KB		
グラフィック : 液晶ディスプレイ (ヒント 2)	800 × 600 ドット時	65536 色 /1677 万色		
	1024 × 768 ドット時	65536 色 /1677 万色		
HDD(ヒント 3)		60GB	40GB	
CD 対応ドライブ		DVD マルチドライブ		DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ
カレンダー時計 (重要 1)		年月日、時分秒を刻時、刻時誤差± 180 秒／月		
スピーカー		2 個 ステレオ		
ディスプレイ		15 型ラスタービュー液晶		
バックライト		冷陰極蛍光燈 1 灯		
キーボード		JIS 標準配列準拠 90 キー		
ポインティングパッド		静電式ポインティングパッド (4 ボタン、スクロールボタン)		
コネクター	シリアル	1 個 PC-97 準拠 9 ピン		
	ディスプレイ	1 個 VESA/DDC1/2B 準拠		
	プリンター	1 個 IEEE1284 準拠、SPP（双方向／ ECP）		
	マイク	1（モノラルミニジャック）		
	ヘッドホン／ 光デジタル音声出力	1 個（ステレオミニジャック／ EIAJ 丸型）		
	i.LINK	1 個 4 ピン S400、IEEE1394		
	USB	3 個 (USB2.0 準拠)		
	モデム (重要 3)	1 個 DATA:56kbps(V.90)/FAX:14.4kbps		
	LAN	1 個 IEEE 802.3 100BASE-TX/10BASE-T		
	映像出力	1 個 S 端子		
PC カードスロット		Type Ⅰ、Ⅱ × 2 または Type Ⅲ × 1 JEIDA Ver4.2/PCMCIA2.1 準拠		
電源	周波数	50/60Hz		
	入力電圧	AC100V ± 10%		
	電源プラグ	2 極差込型		
消費電力 (ヒント 4)	最大	87W	84W	82W
	定常	約 26W	約 29W	約 27W
	スタンバイ時	約 2.0W	約 2.0W	約 2.0W

省エネ法に基づく表示 (ヒント 5)	区分	S		
	エネルギー消費効率	0.0003	0.0004	0.0004
外形寸法 (ヒント 6)		328mm(W) × 268mm(D) × 37mm(H)		
質量		約 3.2kg(バッテリーパック装着時)		
周囲温度 (重要 2)	動作時	10 〜 35 ℃		
	非動作時	− 10 〜 50 ℃		
	保存および輸送時	− 10 〜 60 ℃		
周囲湿度 (重要 2)	動作時	20 〜 80%Rh(結露しないこと)		
	非動作時	20 〜 80%Rh(結露しないこと)		
	保存および輸送時	20 〜 80%Rh(結露しないこと)		
	最大湿球温度	25 ℃		

ヒント

- **1：メモリーは装置に 256MB 内蔵されています。
Windows の「システムのプロパティ」でメモリー容量を参照すると、実際の容量より小さく見えることがあります。参照 詳しくは→ 3 章の「メモリーボードを取り付ける」**
- **2：Windows XP では、65536 色は中 (16 ビット)、1677 万色は高 (24 ビット)・最高 (32 ビット) です。
液晶ディスプレイでは高 (24 ビット)・最高 (32 ビット) に設定した場合ディザリング表示になります。1280 × 1024 ドット・1600 × 1200 ドット時は、仮想デスクトップ表示モードになります。**
- **3：電源を切ると、HDD のヘッドは自動的に退避ゾーンに移動します。
HDD の容量は、1GB=10^9 バイトで計算した場合の数値を表しています。**
- **4：パソコンを使用しないときは、電源を切り、AC アダプターの電源コードのプラグをコンセントから抜かれることをおすすめします。待機時の消費電力を低減できます。**
- **5：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定法により測定された消費電力を、省エネ法で定める
複合理論性能で除したものです。**
- **6：突起部を除いた値です。**
- **7：パソコンの液晶ディスプレイ部 (バックライト) には重金属 (水銀) が使用されています。
内部のサブユニット (基板、ドライブなど) には重金属 (鉛) が使用されています。**

重 要

- **1：刻時誤差は、リアルタイムクロックの数値です。Windows の時間とずれることがあります。**
- **2：長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてから起動してください。**
- **3：内蔵モデムの通信速度最大 56Kbps は、データ受信時の最大速度の理論値です。内蔵モデムは日本国内専用です。海外では使用できません。**

ヒント

- **K(大文字) と k(小文字) の記載の単位は、K(大文字):1024、k(小文字):1000 で換算しています。**

4 ドライブの仕様

DVD マルチドライブ

項目	仕様
書き込み速度	CD-R：最大 16 倍速、CD-RW：最大 4 倍速、DVD-R：最大 2 倍速、DVD-RW：最大等速、DVD-RAM：最大 2 倍速
読み込み速度＊	CD-ROM、CD-R：最大 24 倍速、CD-RW：最大 12 倍速、DVD-ROM：最大 8 倍速、DVD-R/RW：最大 4 倍速、DVD-RAM：最大 2 倍速
読み込み方式	半導体レーザー 3 ビーム方式による非接触読み取り方式
ディスクローディング方式	スロットインローディング／電動イジェクト
周波数特性	20Hz ～ 20kHz(± 3dB)
出力チャンネル	2ch
バッファメモリー	2MB
推奨ディスク	CD-R：太陽誘電（株）製、三井化学 (株) 製、(株) リコー製、日立マクセル (株) 製 CD-RW: 三菱化学 (株) 製、(株) リコー製

＊: ディスクの回転振動が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転速度を落とします。

■ 対応しているディスク

次のディスクを使用できます。

使用するディスクによっては専用ソフトが必要です。

- CD-R
- CD-R/RW
- CD-DA(オーディオ CD、CD-TEXT)
- CD-ROM(mode1 、mode2)
- CD-ROM XA(mode2 の form1 、form2)
- PhotoCD(シングル / マルチセッション)
- CD-EXTRA(CD+)
- VIDEO CD
- DVD-ROM 、DVD-VIDEO、DVD-R(3.95GB / 4.7GB)
- DVD-RAM(2.6GB / 4.7GB)、DVD-RW(Ver.1.1)

重要

- **ディスクをドライブに入れてすぐのときに、“ Not Ready ”など、準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。このときはしばらくお待ちください。**
- **CD-R/RW は、使用する条件によって正しく読み込めないことがあります。**
- **推奨ディスク以外のディスクを使用すると書き込みエラーが発生することがあります。**
- **名刺型ディスクやハート型などの異形ディスクを挿入しないでください。ディスクを取り出せなくなる場合があります。また、故障の原因ともなります。**
- **シングルディスクなどの 8 cm 小径ディスクを挿入しないでください。ディスクを取り出せなくなる場合があります。**

・ "DVD Slim disc" と称するディスクを挿入しないで下さい。ディスクを取り出せなくなる場合があります。
・ ディスク以外の異物を入れないでください。コイン、クリップなどの金属物や、コーヒーなどの
・ 異物が混入すると、故障の原因となりますのでご注意ください。

DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ

項目	仕様
書き込み速度	CD-R：最大 24 倍速、CD-RW：最大 10 倍速
読み込み速度＊	CD-ROM、CD-R/RW：最大 24 倍速、DVD-ROM、DVD-R：最大 8 倍速、DVD-RW：最大 5 倍速
読み込み方式	半導体レーザー 3 ビーム方式による非接触読み取り方式
ディスクローディング方式	マニュアルローディング (トレー式) ／電動イジェクト
周波数特性	20Hz ～ 20kHz(± 3dB)
出力チャンネル	2ch
バッファメモリー	2MB
推奨ディスク	CD-R：太陽誘電（株）製、三井化学 (株) 製、 (株) リコー製、日立マクセル (株) 製 CD-RW: 三菱化学 (株) 製、(株) リコー製

＊: ディスクの回転振動が大きい場合や高速での読み込みが困難な場合は、自動で回転速度を落とします。

■ 対応しているディスク

次のディスクを使用できます。

使用するディスクによっては専用ソフトが必要です。

・ CD-R
・ CD-R/RW
・ CD-DA(オーディオ CD、CD-TEXT)
・ CD-ROM(mode1 、mode2)
・ CD-ROM XA(mode2 の form1 、form2)
・ PhotoCD(シングル / マルチセッション)
・ CD-EXTRA(CD+)
・ VIDEO CD
・ DVD-ROM 、DVD-VIDEO、DVD-R(3.95GB / 4.7GB)
・ DVD-RW(Ver.1.1)

重要

・ ディスクをドライブに入れてすぐのときに、“ Not Ready ”など、準備ができていないことを示すエラーメッセージが表示される場合があります。このときはしばらくお待ちください。
・ CD-R/RW は、使用する条件によって正しく読み込めないことがあります。
・ 推奨ディスク以外のディスクを使用すると書き込みエラーが発生することがあります。

ドライブの使用について

ドライブの取り扱い

・ パソコンの電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行うときは、ドライブのランプが消えてから行ってください。
ランプの点灯／点滅中に電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行うとドライブが壊れることがあります。
・ ドライブは、10 〜 35 ℃の温度環境で使用できますが、長くお使いいただくためには30 ℃以下の場所でお使いください。
・ ドライブの使用中に衝撃を与えないでください。
・ ドライブの中に異物を入れないでください。ドライブが破損し、故障の原因になります。

ディスクの取り扱い

・ ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に拭いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
・ ディスクからゴミや水分を取り除くのにドライヤーは使わないでください。
・ ディスクは高温な場所で保管しないでください。
・ ディスクを折ったり曲げたりしないでください。
・ ディスクに字を書いたり傷を付けたりしないでください。
・ ディスクにシール等をはらないでください。ドライブの故障の原因になります。
・ お子さまがディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子さまの手の届かないところに保管してください。
・ ドライブのピックアップレンズには、直接手で触れないでください。

メモリーボード

項目	仕様
パリティ	なし
DRAM タイプ	DDR SDRAM、PC2100
DIMM タイプ	SO-DIMM 200 ピン
電源電圧	2.5V

バッテリーパック

項目	仕様
形名	AB6550
材質	リチウムイオン
出力電圧	11.1V
外形寸法	93㎜(W) × 147㎜(D) × 21㎜(H)（ラバーフット含まず）
質量	約 352g

4 有寿命部品一覧

パソコンの部品は、長期間使用しているうちに劣化、磨耗します。次の部品は、一定周期で交換の必要があります。ここで記載の寿命とは設計製造上の想定寿命であり、寿命を保証するものではありません。想定寿命を満たさない場合でも、無償修理期間を過ぎている場合の部品代は有償です。購入や交換については、お買い求め先にご連絡ください。なお、交換した部品は、パソコン購入時の部品と異なる場合があります。

品 名	備 考
HDD ユニット	＊1
DVD マルチドライブ	＊2
DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ	＊2
液晶ディスプレイ	＊1、3
キーボード	＊1
ファン	＊1
AC アダプター（形名：AP6530）	＊1
バッテリーパック (形名 :AB6550)	＊4
リチウム電池	＊5

＊1：事務室で1日に約4.8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間 (通電のみを含む) が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
＊2：事務室で1日に約2時間、1カ月で25日間、データを読み込むと想定した場合、寿命は約5年です。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。
＊3：明るさが工場出荷時の約1/2に低下したときを寿命とします。
＊4：寿命は約300サイクルです。または、通常の事務環境で過充電せず定期的に完全放電した場合は、約1年です。過充電にしたり、負担のかかる使い方をすると、寿命は短くなります。
＊5：事務室で1日8時間、1ヶ月で25日間、通常に使用すると想定した場合、寿命は10年です。したがって、上記より使用時間が長い場合は、その分寿命が長くなります。使用しない場合でも定期的に通電されることをおすすめします。

オプション情報

パソコンに増設または接続できるオプションを次に示します。

分類	品名	形名	備考
アクセサリー	AC アダプター	AP6530	AC アダプターと電源コードのセット
	バッテリーパック	AB6550	リチウムイオン (6 セル)
	バッテリーパック	AB6560	リチウムイオン (9 セル)
ファイル装置	フロッピーディスク装置	UF2231	USB インターフェース、3.5 型、3 モード＊
オーディオ機器	MEDIALIVE	EU7100	USB インタフェース、対応送信周波数：76.8 ～ 78.0MHz オーディオ周波数帯域：20Hz ～ 15kHz

＊: Windows XP では 2 モードでの利用となります。

重 要

- **この一覧表以外のオプションについては、動作保証していません。**

付録

4 用語解説

ここでは、Prius シリーズで使われている用語を説明します。機種によって使用しない用語もあります。

数字

2DD

両面倍密度倍トラックと呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、720KB にフォーマットできる。

2HD

両面高密度と呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、1.44MB にフォーマットできる。

3 モード FD ドライバー

1.25MB(1.23MB) のフロッピーディスクの読み書きを行うためのドライバー。
1.25MB(1.23MB) のフォーマットはできない。

5.1 チャンネルドルビーデジタル

映画の多くで採用されている音声の再生方式の１つ。DVD ビデオなどにも採用されている。

英字

A

ACPI

Advanced Configuration and Power Interface の略。節電機能など電源管理を行うための最新の仕様。Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP でサポートされている。

ADSL

従来の電話回線を使い、音声電話に使用しない高い周波数を利用することで、高速なデーター転送を可能にしたデジタル技術（xDSL）の１つ。インターネットへの接続には専用の ADSL モデムを使用する。

APM

Advanced Power Management の略。節電機能など電源管理を行うための仕様。

Athlon

アスロン。パソコンに使われている CPU の種類の１つ。

B

BIOS

キーボード、マウス、プリンター、ディスク装置などの入出力装置のインタフェースで、基本的な処理を行うプログラム。本書では、BIOS メニューを指す。セットアップメニューという場合もある。

BIOS 設定の初期化

BIOS メニューの設定値を、工場出荷時の状態に戻すこと。

C

Card Bus

PC カードのインタフェースの規格。データ転送が 32 ビット化されている。

CPU

中央処理装置。パソコンの基本である演算と制御を行う。

D

DMA

Direct Memory Access の略。CPU を介さずに、主記憶装置 (メモリー) と周辺機器 (ハードディスクなど) とのデータの受け渡しを行う方法。

Duron

デュロン。パソコンに使われている CPU の種類の 1 つ。Athlon との違いは 2 次キャッシュメモリーの容量。

F

FDISK

ハードディスクのパーティションなどを設定する MS-DOS プロンプトのコマンド。

G

GB

ギガバイト。容量などを示す単位。1GB は約 1000MB。

I

IC

Integrated Circuit の略。トランジスター、ダイオード、コンデンサーなどを詰め込んだ集積回路のこと。

IDE

ハードディスクドライブや、CD-ROM ドライブなどを接続するためのインタフェース。

I/O マップ

入出力装置のそれぞれに割り当てられているアドレスの一覧表。

IP アドレス

インターネットなどで使用するアドレス。

IRQ

キーボード、マウス、SCSI ポートなどのハードウェアからパソコンの CPU に対して処理を要求する割り込み信号。

L

LAN

ローカルエリアネットワーク (Local Area Network) の略。同じビル内や構内など、比較的狭い範囲で使用されるネットワーク。

LAN ユーティリティー

内蔵 LAN の通信速度やモードを設定するユーティリティー（機種による）。

Low Battery

バッテリーパックの容量が少なくなった状態。Low Battery になったら、バッテリーパックを交換すること（ノート型パソコンのみ）。

M

MB

メガバイト。容量などを示す単位。1MB は約 1000kB。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating System の略。ディスクやファイルなどを管理する基本となるプログラム。

MS-DOS モード

MS-DOS(Microsoft Disk Operating System) 互換モード。MS-DOS で動作するゲームなどが実行できる。

MS-DOS 領域

MS-DOS システムを格納する領域。

O

OS

Operating System の略で パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。基本ソフトともいう。Windows も OS の 1 つ。

P

PCI

パソコンへの入出力のバス規格の 1 つ。

PDF

Portable Document Format の略で、プリンタードライバーに依存しないファイル形式。

このマニュアルのデータもPDFファイルである。

Pentium

ペンティアム。パソコンに使われているCPUの種類の1つ。

PIOモード

Program Input/Outputの略。IDEインタフェースのデータ転送方式の一種。

■S

Save to Disk/Save to File

ノートパソコンの節電機能の一種。一定時間キー入力やマウス操作をしない、ディスプレイを閉じるなどによって現在の状態をHDDに保存し、パソコンの電源を切る。

SCSI

スカジー。パソコンと周辺機器を接続するためのインタフェース規格。

SSEドライバー

Intel Streaming SIMD(Single Instruction Multiple Data)Extensions Driverの略。Intel Pentium III processorや、一部のIntel Celeron processorのパソコンでWindowsを使用できるようにするドライバー。

SuperDisk

データを保存するもの。120MBまで保存できる。

■T

TFT

Thin Film Transistorの略で、液晶ディスプレイの表示方式の一つ。画面にトランジスターを埋め込み、それを使って1点1点を直接光らせ表示する方式。

■U

UHD

SuperDiskのフォーマット形式で、120MBにフォーマットできる。

USB(ユニバーサルシリアルバス)インタフェース

キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなど比較的低速な周辺機器とパソコンとの接続を、同じコネクターで統一したインタフェース。

■W

Windows

パソコンをビジュアルに操作できるようにした基本ソフト。

Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating SystemまたはMicrosoft® Windows® 2000 Server Operating Systemの略。

Windows 95

Microsoft® Windows® 95 Operating Systemの略。

Windows 98

Microsoft® Windows® 98 Operating Systemの略。

Windows Me

Microsoft® Windows® Millennium Editionの略。

Windows NT

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating SystemまたはMicrosoft® Windows NT® Server Network Operating Systemの略。

Windows XP

Microsoft® Windows® XP Home EditionまたはMicrosoft® Windows® XP Professionalの略。

五十音

■あ

アイコン
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを絵文字で現したもの。

アクティブデスクトップ(Active Desktop)
インターネット エクスプローラ 4.0 からの機能のひとつ。デスクトップの壁紙にホームページを使用したり、チャンネルバーを表示できる。

アドレス
データやソフトウェアを格納する記憶装置の中の特定の位置を示す数字。

アプリケーション
パソコンでワープロ、表計算、パソコン通信などを実行するプログラムの総称。

インジケーター
パソコンに電源が入っているか、節電中であるか、キーボードの設定などのパソコンの状態を示すランプ。

インストール
アプリケーションや Windows をハードディスクに組み込むこと。

インターネット アプライアンス(Internet Applience)
インターネットに接続するための機器またはその環境。

インターネット エクスプローラ(Internet Explorer)
インターネットに簡単に接続するアプリケーション。ブラウザーともいう。

液晶ディスプレイ
液晶を使ったディスプレイ装置。

オプション機器
標準では装備されていない機能や周辺機器。

■か

解像度
画面表示の粗さを示す。

拡張ボード
拡張スロットに取り付けて機能を拡張するボード。

カラーパレット
画面表示で使用する色数。

起動ドライブ
パソコンの電源を入れたとき基本ソフトを読み込むドライブ。

基本ソフト
パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。

クライアントパソコン
クライアントサービスシステムで、サービスを提供するサーバパソコンに対し、サービスを要求するパソコン。

クリック
マウスの左ボタンなどを１回押してすぐに指を離すこと。メニューやアイテムなどを選択するときに行う。

コントロールパネル
パソコンの環境を設定するプログラムをまとめたもの。

コンピューターウイルス
ネットワークやフロッピーディスクを介して感染する有害なプログラム。

■さ

再セットアップ
パソコンを工場出荷時の状態に戻すこと。

サウンドドライバー
スピーカーやマイク、サウンド機能を使えるようにするドライバー。

サスペンド
BIOS の節電機能の一種で、一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

システムスタンバイ
OS の節電機能の一種で、Windows 98、Windows 2000、Windows Me、Windows XP の機能。一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

システム装置
個人用コンピュータのこと。このマニュアルでは、パソコンと表記。

周辺機器
パソコンの内外に接続する装置や入出力装置の総称。

使用許諾契約書
ここでは、パソコンにあらかじめインストールされている各アプリケーションと Windows を使用するための契約書を示す。

ショートカット
実際のデータやアプリケーションの代理として働くアイコン。

ショートカットメニュー
右クリックで表示されるメニュー。よく行う操作が簡単に選べる。

自動挿入 / 自動再生
音楽 CD や CD-ROM を入れると、自動的に再生したり、CD-ROM の機能が働いたりすること。

スクリーンセーバー
画面の焼き付きを防止するもの。一定時間キー入力やマウス操作を行わないと、自動的に設定した画面表示に替わる。

スタートボタン
Windows のいろいろな操作を始めるときに使うボタン。

スタンバイ
OS 終了時に選択できる節電機能。CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

赤外線インタフェース
赤外線インタフェースの送受信部。赤外線インタフェースを持つ機器と通信できる。

節電機能 (パワーマネージメント)
一定時間キー入力や HDD へのアクセスなどがないとき、消費電力を低下させる機能。

セットアップメニュー
パソコンの節電機能や周辺機器構成などを設定する機能を集めたメニュー。

挿入の自動通知
音楽 CD や CD-ROM を入れると、自動的に再生したり、CD-ROM の機能が働いたりすること。

ソフトウェアリセット (リセット)
緊急時に電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。

■た

ダブルクリック
クリックボタン、またはマウスのボタンを 2 回続けてクリックすること。

チャンネルバー
アクティブデスクトップの機能のひとつ。デスクトップに表示されるホームページのメニュー。

デスクトップ
パソコンの作業をするための机のようなもの。データやアプリケーションなどのショートカットをおいて作業しやすくできる。

ドライバー
ディスプレイやプリンターなどのハードウェアとアプリケーションプログラムから やりとりするためのインタフェースプログラム。

ドラッグ
クリックボタン、マウスのボタンを押しながらマウスカーソルを移動すること。

■な

内蔵タイマー
パソコンに内蔵されている時計。

■は

パーティション
ハードディスクの領域。複数に分けて使うことができる。

バス
パソコン内部の信号（データ）の通信路。信号の種類や、接続する機器により、数種類のバス規格がある。PCI バス、VME バスなどもそれらの１つ。

パソコン
パーソナル (個人用) コンピューターの略。

バックアップ
ハードディスクやフロッピーディスクのアプリケーションやデータを、保存用のフロッピーディスクや MO などの記録媒体にコピーすること。

ハードウェアウィザード
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。

ハードウェアの追加
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。

表示ドライバー
画面の表示を設定するドライバー。

表示モード
画面の解像度や色数などの表示状態。

ファイル装置
ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどの総称。

フォーマット
フロッピーディスクやハードディスクを使えるようにすること。

フォルダー
データやプログラムを整理してまとめておく入れ物。

フォントサイズ
文字のサイズ。

プラグアンドプレイ
周辺機器を増設するだけで、自動的に使えるようにする機能。

プラグアンドプレイ機能
パソコンに周辺機器を接続するだけで、パソコンが周辺機器を自動的に認識する機能。パソコンや周辺機器に特別な設定がいらない。

プリンターの設定
使用するプリンターの機種を設定し、Windows で使えるようにすること。

フロッピーディスク
データを保存するもの。

ホットキー
[Fn] キーとファンクションキーの組み合わせを指す。ディスプレイの明るさやコントラストの調節などに使用する (ノート型のみ)。

■ま

マウスカーソル
マウスの動きに合わせて画面を移動するマーク。

マルチファンクションカード
複数の機能を持つ PC カード。複数の IRQ を使用することがある。

マルチファンクションボード
複数の機能を持つ PCI ボード。INTA 以外も使用することがある。

メインボード
CPU やその周辺回路、メインメモリーなどを搭載した基板。

メモリーボード
パソコンのメモリー容量を増やすためのボード。

■や

ユーティリティー
メーカーが提供する補助的なソフトウェアのこと。データの変換、ファイルの複写、作表など共通で、頻繁に使われるソフトウェア。

ユニバーサルシリアルバスコネクター

→ USB（ユニバーサルシリアルバス）インタフェース

■ら

リセット

電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。

リフレッシュレート

画面表示するときの、垂直同期周波数。

さくいん

■は

■ひ

■ふ

■へ

■ほ

■ま

■め

■も

■ゆ

■ら

■り

■わ

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・EnergyStar はアメリカ合衆国の登録商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・Intel Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
・Celeron は Intel Corporation の商標です。
・ドルビーは、ドルビーラボラトリーズの商標です。
・CyberSupport は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

パソコン応用

初　版　2003 年 4 月

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435　神奈川県海老名市下今泉 810 番地

お問い合わせ先：安心コールセンタ　0120-8855-96

100F740P0-1

HITACHI
Inspire the Next

Prius
Air Note 100F

100F740P0-1